取扱説明書

日立パッケージエアコン
日立産業用中温エアコン

システムフリーZ

天井埋め込みカセット型室内ユニット

てんかせ２方向

HITACHI
Inspire the Next

このたびは日立パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、エアコンを正しくご使用ください。

お読みになった後は、大切に保管してください。
保証書は室外ユニットに付属しています。
わからないときは、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口へお問い合わせください。
お客様がご使用になっているエアコンの室内ユニットおよびパネルは☑のものです。

		室内ユニット単体型式	
冷房専用型 / 冷暖房兼用型	単相機（ヒーターレス）	□RCID-AP［　］K1 □RCID-AP［　］KLH1 （中温型）	型式をご記入の上、お客様にお渡しください。
冷暖房兼用型	単相機（ヒーター付）	□RCID-AP［　］KTJ1	型式をご記入の上、お客様にお渡しください。
	三相機（ヒーター付）	□RCID-AP［　］KT1	型式をご記入の上、お客様にお渡しください。

次の室外ユニットと組み合わせてあります。	RAS-［　］	型式をご記入の上、お客様にお渡しください。

次のパネルと組み合わせてあります。	□昇降グリル付き □昇降グリル不付き

この取扱説明書は室内ユニット用です。
組み合わせられる室外ユニットに付属している取扱説明書も併せてご覧ください。

もくじ

はじめに

●この製品は国内向け一般空調用（中温型は産業空調用）です。

●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使わないでください。

●次のような場所への設置はしないでください。多くの場合エアコンが故障する原因になります。

・油（機械油も含む）の飛沫・蒸気の多い場所。

・火炎・油・水蒸気・粉など直接吸い込む恐れがある場所、および調理する場所の真上。

・温泉地など硫化ガスの多い場所。

・可燃性ガスの発生・流入などの恐れがある場所。

・海岸地帯の塩分の多い場所。

・酸性またはアルカリ性の雰囲気の場所。

・腐敗物の保管所などガスが発生する恐れがある場所。

●電磁波を発生する医療機器などを使用するときは、エアコンの誤作動防止に注意してください。

電磁波の発信面を、室内ユニットの電気品箱・リモコンコード・リモコンスイッチに直接向かわない位置に据え付けてください。

電磁波の空中伝播の影響をさけるため、電磁波を発信する機器やラジオなどは、エアコンより3m以上離してください。

記号の意味

⚠警告：取り扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定できる場合を示します。

⚠注意：取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定できる場合を示します。

留意事項：警告・注意以外の注記事項を示します。

メモ：知っていると便利な情報を示します。

：禁止事項を示します。

：強制事項を示します。特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示です。

：強制事項を示します。必ずアース線を接続するよう指示する表示です。

：参照ページを示します。

安全のため必ずお守りください

●ご使用の前に、この「安全のため必ずお守りください」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、「⚠警告」・「⚠注意」に区分していますが、誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「⚠警告」の欄にまとめて掲載しています。

しかし、「⚠注意」の欄に掲載した事でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。いずれも安全に関する重要な内容を掲載していますので必ずお守りください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

据付・電気工事について

⚠警告

●据え付けは、お買い上げの店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニット落下によるケガの原因になります。

●小部屋に据え付ける場合は、冷媒が漏れても限界濃度を超えないように換気対策をする必要があります。万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。
詳しくはお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

●電気工事をするには資格が必要ですので、資格のある店に依頼してください。
ご自分で電気工事をされ不備があると、感電および火災の原因になります。
万一、アースが外れると感電の恐れがありますので、最寄りの電気工事店に連絡し、アースを取り付けてください。

●漏電遮断器が取り付けられているか確認してください。
漏電遮断器が取り付けられていないと、感電および火災の原因になります。

安全のため必ずお守りください（つづく）

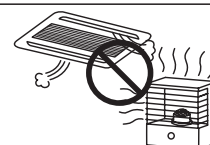
運転中に

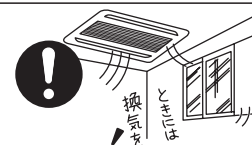
⚠警告

●空気の吹出口および吸込口に指や棒などを入れないでください。
内部で回転しているファンや電気品にあたり、ケガの原因になります。

●濡れた手でリモコンスイッチを操作しないでください。
感電の原因になります。

●エアコンを運転している部屋では引火物を使わないでください。
ラッカーやペイントなどの可燃性スプレーおよび油（機械油も含む）の蒸気は発火の原因になります。

●エアコンの風が直接あたる場所へ燃焼器具を置かないでください。
燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。

●長時間冷風を身体に当てたり、冷やしすぎないようにしてください。
体調悪化および健康障害の原因になります。

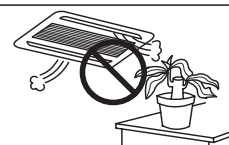
●燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になります。

●安全装置がたびたび作動したり運転スイッチの作動が確実でない場合は、ただちに元電源を切ってください。
漏電または過電流の可能性があるため、感電・火災・破裂の原因になります。
お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

●異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して、元電源をただちに切ってください。
異常のまま運転を続けると故障・感電・火災などの原因になります。
お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

●不燃性・非毒性・無臭性の安全冷媒（フルオロカーボン）を使用していますが、万一、フルオロカーボンが漏れて火気に触れると有害ガスが発生する原因になります。また、フルオロカーボンは空気より比重が重いため、床面付近をおおい酸素欠乏の原因になります。
●万一、フルオロカーボンが漏れたときには、ストーブなどの火気を消して床面を掃くようにして換気したうえで、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

●室内ユニットのサービスカバーやパネルを外したまま運転しないでください。
ファンが露出して非常に危険です。また、電気部品の通電部分に触れると感電の原因になります。

注意

●エアコンの風が直接あたる場所に動植物を置かないでください。
動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

●冷房（暖房）シーズン中は、室内ユニットの電源を切らないでください。
電源を切るとドレン水を強制的に排出できなくなり、水受けから水があふれ天井面および床面を汚す原因になることがあります。

安全のため必ずお守りください(つづき)

昇降グリル操作中に

⚠警告

●空気吸込グリルの上に物を載せないでください。
空気吸込グリルはワイヤー 4本吊りです。物を載せるとバランスがくずれ、落下や破損の原因になります。また、昇降グリル付きパネルに収納されず、故障の原因になります。

●空気吸込グリルを揺すらないでください。
空気吸込グリルを揺らすと周囲の物に当たったり、空気吸込グリルが落下し、ケガの原因になります。

●空気吸込グリルを引っ張らないでください。
空気吸込グリルを無理に引き出したり、止めないでください。駆動系が破損して空気吸込グリルが落下し、ケガの原因になります。

●空気吸込グリルの動作範囲内に物を置かないでください。
空気吸込グリルの昇降時に空気吸込グリルが当たり、ケガの原因になります。

●ワイヤーは折り曲げたり、火を近づけたりしないでください。
ワイヤーが切断して空気吸込グリルが落下し、ケガの原因になります。

●空気吸込グリルを外した状態で上昇させないでください。
ワイヤーの絡みなど、駆動系の破損または周囲の物を引っ掛け、ケガの原因になります。

修理・移設について

⚠警告

●エアコンを修理または移設するときは、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。
修理や据え付けに不備があると、感電および火災などの原因になります。

安全のため必ずお守りください

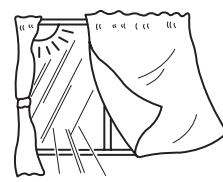
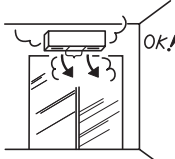
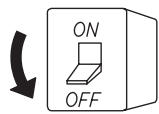
その他の警告および注意

⚠警告	●お手入れの際は、必ずエアコンの元電源を切ってから作業してください。 感電および傷害の原因になります。	
	●お手入れの際は、エアコン内部に水を入れないようにしてください。 電気品に水がかかると感電の原因になります。	
	●製品および電気配線の改造変更をしないでください。 重大事故の原因になります。	
	●お手入れの際は、足場はしっかりしたものを使用してください。 転倒および傷害の原因になります。	
	●お手入れの際は、室内ユニットに水やスプレー式の洗剤をかけないでください。 電気ショートによる感電および火災の原因になります。	
	●エアコンの配管内には冷媒が封入されているため高圧になっています。資格者以外は配管接続部をゆるめたり、外したりしないでください。 資格者以外が作業をすると重大事故の原因になります。	
⚠注意	●メンテナンススペース内に物を設置しないでください。 空気吸込グリルを下降させたとき、物にぶつかり、落下および破損の原因になることがあります。	
	●エアーフィルターや空気吸込グリルの取り付け時・取り外し時は手でしっかり保持してください。落下および傷害の原因になることがあります。	
	●空気吸込グリルの仮掛けの際は、必ずエアコンの電源を切ってから作業してください。 また、余ったワイヤーは室内ユニットのファンに吸い込まれないよう、短く束ねておいてください。エアコンの破損やワイヤーの絡みなど、駆動系の破損する原因になることがあります。	
	●空気吸込グリルの昇降やエアーフィルターの取り付け時・取り外し時は、この取扱説明書に従って確実に実施してください。 落下および傷害の原因になることがあります。	
	●カッシャ台の取付方向の誤りおよび吊りワイヤーに絡みがあると、カッシャなどに噛み込み、カッシャおよびカッシャ台が破損して空気吸込グリルが落下し、ケガの原因になることがあります。	
	●空気吸込グリルを昇降グリル付きパネルに収納する際は、上昇させる前に空気吸込グリルが水平になっているか、また、吊りワイヤーがたるんでいないかを確認してください。 傾いたまま、または吊りワイヤーがたるんだまま上昇させると、カッシャなどに噛み込み、カッシャおよびカッシャ台が破損して空気吸込グリルが落下し、ケガの原因になることがあります。	

上手にお使いいただくために

次の範囲でお使いください

区分＼条件	室外ユニット吸込空気温度	室内ユニット吸込空気温度（室内温度ではありません）	
			中温型
冷房運転	－5℃以上43℃以下（乾球）	約21.5℃以上30℃以下（乾球）（相対湿度約80％以下）	約8℃以上22℃以下（湿球）約10℃以上30℃以下（乾球）（相対湿度約80％以下）
暖房運転	約－10℃以上15.5℃以下（湿球）	17℃以上25℃以下（乾球）	10℃以上30℃以下（乾球）

注）1. 上記範囲外の場合は機械の保護装置が働いて、運転ができないことや、室内ユニット から露が落下することがあります。
2. 冷房専用室外ユニットと組み合わせて使用した場合は、暖房運転は行いません。

留意事項

●中温型の場合、室内風量は通常、「急風」で使用してください。室内風量を「強風」・「弱風」で使用した場合、使用温度範囲によっては、まれに室内熱交換器の凍結、ドレンパンからの水漏れ発生、または圧縮機の故障の恐れがありますので、「強風」・「弱風」での使用を控えてください。

効果的にお使いいただくには

窓および出入口は開けたままにしない

運転効率が悪くなります。
室内ユニットの結露の原因になります。

（換気にも十分注意してください。）

窓には、カーテンまたはブラインドを

直射日光をふせぎ、冷房効果が良くなります。

冷房中は発熱器具をできるだけ使わない

冷房効果が弱くなります。
露付き・露落下の原因になります。

天井に熱い空気がこもる場合は、サーキュレーターのご使用を

快適性が向上します。
詳しくはお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

OK!

天井面の汚れが目立つときは、風を少し下向きに

水平より約45°下向きがおすすめです。

45°

長期間使用しないときは元電源を切る

元電源を切らないと、エアコンを使用しない期間も待機電力分の料金を支払わなくてはなりません。

ON
OFF
シーズンオフはOFF

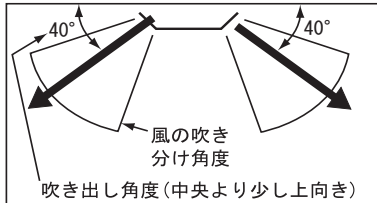
上手にお使いいただくために

冷房・暖房を十分に行きわたらせるには

冷　房

1. 風向き

風の適正吹出角度は約40°です。

設定の方法

PC-ARF1, PC-ARFV

☞ 14ページ

PC-AR1

☞ 28, 29ページ

冷えが良くないときは風向きを変えてみてください。

2. 風量

通常は「強風」で使用します。

「急風」にすると、さらに風が広く行きわたります。

中温型の場合、通常は「急風」で使用します。

「強風」・「弱風」の場合は、凍結防止制御が作動して冷房と送風の交互運転になる場合があります。

3. 温度

おすすめ設定温度は27 ～ 29℃です。

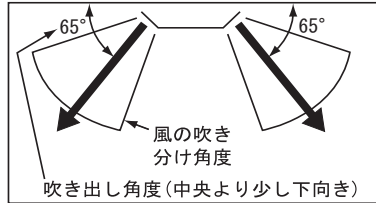
中温型の場合、使用環境に合わせて10 ～ 30℃の範囲で設定してください。

冷えが良くないときには低めに設定します。

暖　房

1. 風向き

風の適正吹出角度は約65°です。

設定の方法

PC-ARF1, PC-ARFV

☞ 14ページ

PC-AR1

☞ 28, 29ページ

暖まりが良くないときは風向きを変えてみてください。

2. 風量

通常は「強風」で使用します。

「急風」にすると、さらに風が下まで広く行きわたります。

中温型の場合、通常は「急風」で使用します。

3. 温度

おすすめ設定温度は18 ～ 20℃です。

中温型の場合、使用環境に合わせて10 ～ 30℃の範囲で設定してください。

暖まりが良くないときには高めに設定します。

メモ　ビル用マルチの特性について

室内ユニットの運転台数変化時や運転モード変化時に、**吹出空気温度が変化**し室内温度が変わる場合があります。このような場合は次のように設定してください。

- **冷房**のとき：温度設定値を少し下げてください。
- **暖房**のとき：温度設定値を少し上げてください。

各部のなまえと安全注意事項の表示

●お買い上げのエアコンにはお使いになる方が安全にお使いいただくため、エアコン本体に安全注意事項の表示をしています。
ご使用の際やお手入れの際は安全のため、注意事項を必ずお守りください。

安全注意事項	表示内容
回転物警告	⚠警告 ケガの恐れあり 指や棒を入れないでください。
経年劣化に係る安全上の表示	※本製品(パッケージエアコン)は、業務用エアコンです。 下記の【設計上の標準使用期間】は、家庭用としてご使用された場合を想定して表示をしています。 ※【設計上の標準使用期間】 １０年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

室内ユニット

経年劣化に係る安全上の表示

●電気品箱ふたに貼り付けています。
●製造年は、仕様銘板に表示しています。

ユニット本体

空気吹出口

風向調節羽根

パネル(別売)

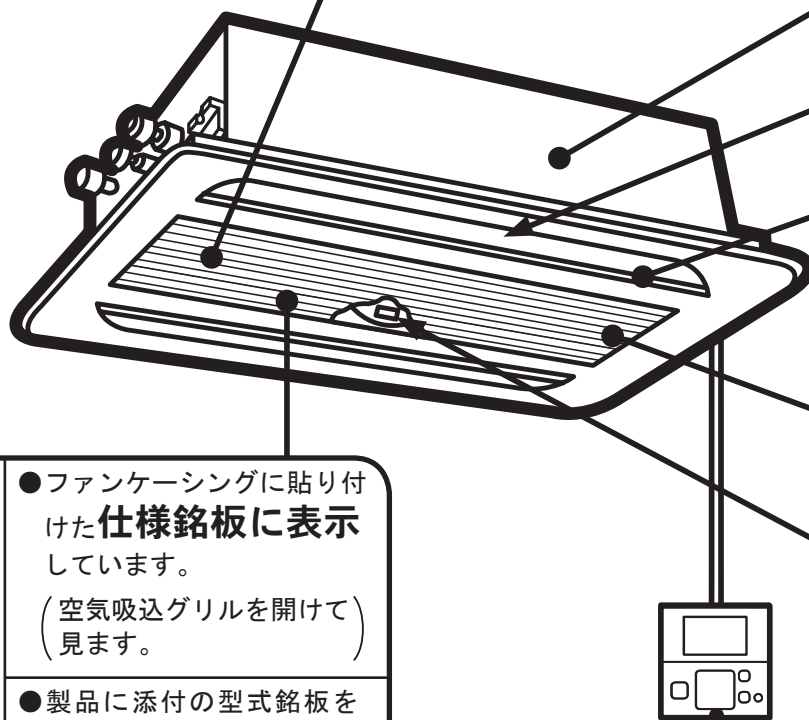
空気吸込グリル
(内部にエアーフィルターが付いています。)

回転物警告

多機能リモコン(別売)
(液晶表示により運転状態が目視できます。)

製品の型式の表示箇所

●ファンケーシングに貼り付けた**仕様銘板に表示**しています。
(空気吸込グリルを開けて見ます。)

●製品に添付の型式銘板を**多機能リモコンなど**に貼り付けてください。

安全注意事項の表示箇所	●上図中の □ に示す位置に刻印または貼り付けしています。

留意事項

●多機能リモコンの操作は**指で軽く押して**ください。
ボールペンなどの先のとがったもので操作すると**操作部の破損の原因**となることがあります。
●別売のワイヤレスリモコン・昇降専用ワイヤレスリモコンをご使用のときは、受光部キットに付属の取扱説明書に従って操作してください。

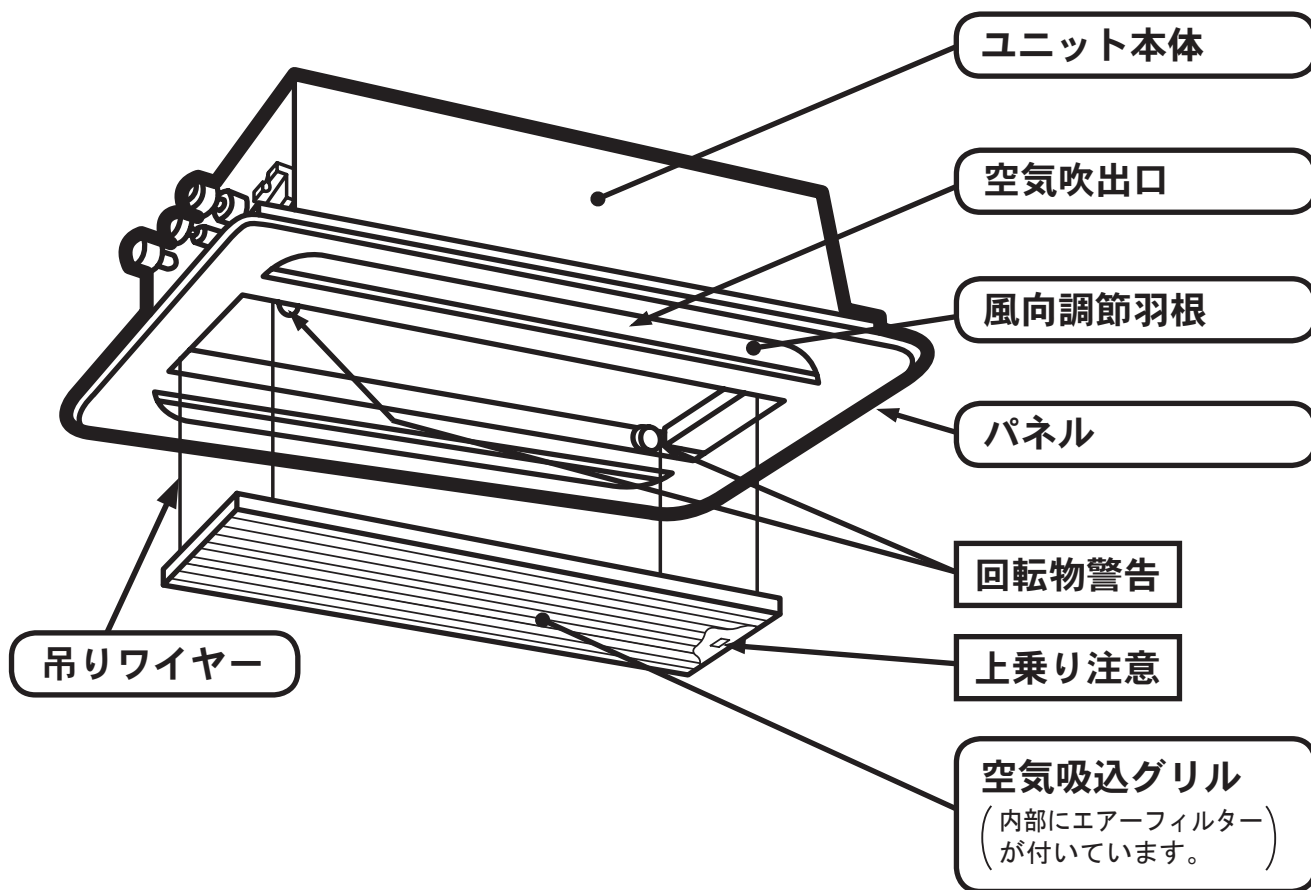
各部のなまえと安全注意事項の表示

●お買い上げのエアコンにはお使いになる方が安全にお使いいただくため、エアコン本体に安全注意事項の表示をしています。
ご使用の際やお手入れの際は安全のため、注意事項を必ずお守りください。

安全注意事項	回転物警告	上乗り注意
表示内容	⚠警告 ケガの恐れあり 指や棒を入れないでください。	⚠注意 転倒、ケガの恐れあり ユニットの上に乗らないないでください。

室内ユニット

《昇降グリル付きパネルの場合》

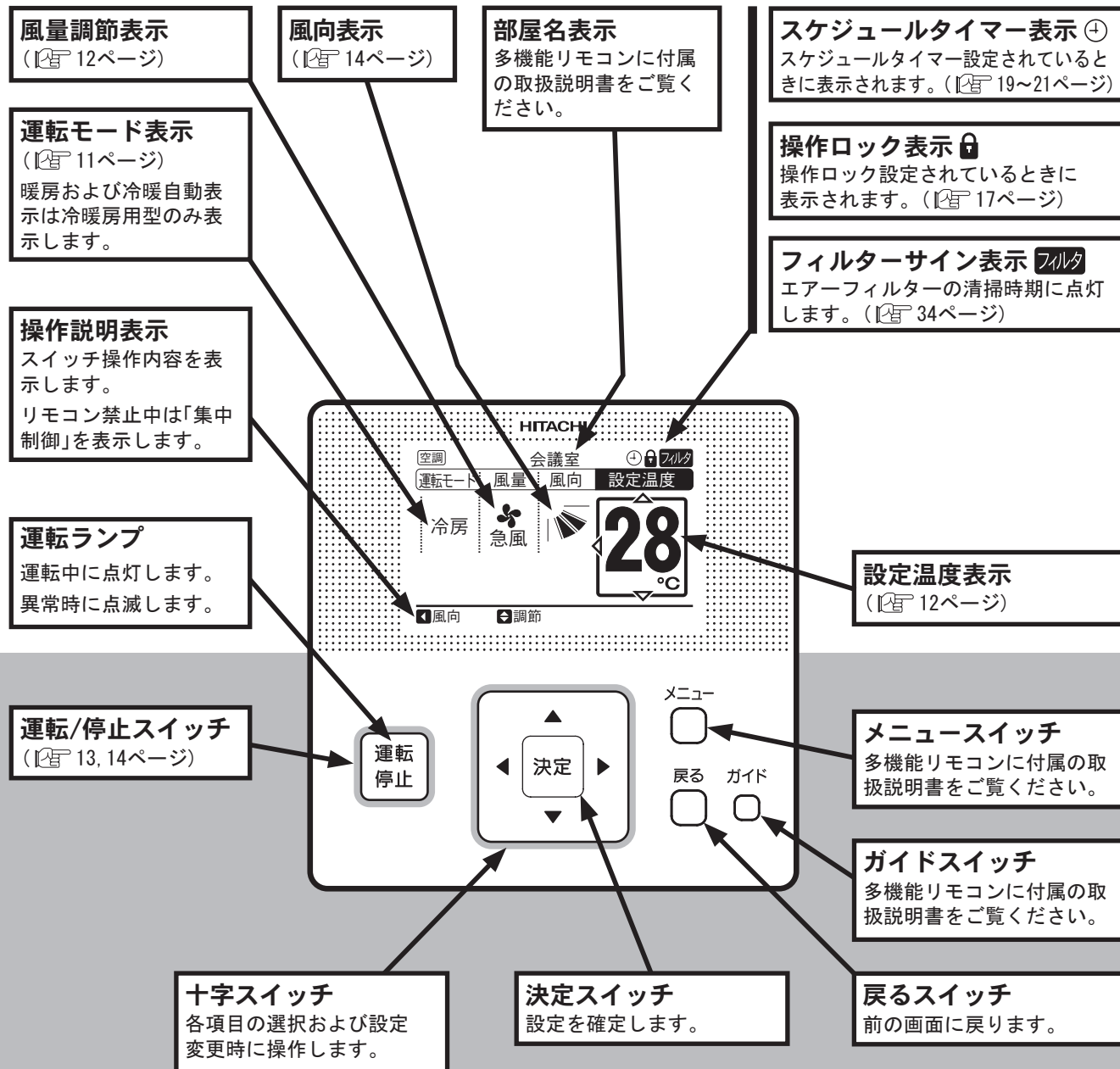
（本安全注意事項の表示は、昇降グリル付きパネルについてのみ記載してあります。本体の安全注意事項は7ページをご覧ください。）

安全注意事項の表示箇所	● 上図中の □ に示す位置に貼り付けています。

多機能リモコンのなまえ

表示部

（下の表示は説明のため、画面は「運転操作画面」を表示しています。実際の運転時とは異なります。）

図はPC-ARF1,
PC-ARFVの場合を
示します。

ご使用の前に

留意事項

●多機能リモコンの操作は**指で軽く押して**ください。
ボールペンなどの先のとがったもので操作すると**操作部の破損の原因**となることがあります。
●詳細は、多機能リモコンに付属の取扱説明書に従って操作してください。

アメニティリモコンのなまえ

表示部

（下の表示は説明のため、すべてを表示しています。実際の運転時とは異なります。）

図はPC-AR1の場合を示します。

風量調節表示
（☞28ページ）

換気切換表示

運転モード表示
（☞27ページ）
暖房表示は冷暖房兼用型のみ表示します。

冷暖自動モード表示
（☞32ページ）
冷暖房兼用型のみ表示します。

運転ランプ（赤色）

オートルーバー表示
（☞28, 29ページ）

除霜表示
冷暖房兼用型のみ表示します。

集中制御表示
別売の多機能集中コントローラー使用時に点灯します。

タイマー運転状態表示

温度表示
（☞28ページ）

アラームコード表示
（☞41, 43ページ）
この表示はエアコンの異常時に表示されます。

機能なし表示 機能がありません
本エアコンで使用できないスイッチを押したときに5秒間点滅表示されます。

ホットスタート表示 ホットスタート
操作が制限されているときに表示されます。

操作制限表示 操作ロック
操作が制限されているときに表示されます。

アラーム表示
（☞41, 43ページ）

フィルター清掃表示
（☞34ページ）

送風 冷房 暖房 ドライ 急風 強風 弱風 風向 除霜中 集中制御 空+換 調気 入切タイマー 88.88 アドレス 系統K時間 機能がありません 操作ロック ホットスタート サービス 88 設定温度 88 ℃ % 台 アラーム 昇降 フィルタ 試運転 点検 リモコンサーモ

運転/停止　温度調節

運転切換　風量　入/切タイマー　リセット
昇降　換気切換　オートルーバ　時間設定　点検

運転/停止スイッチ
（☞27ページ）

風量スイッチ
（☞28ページ）

運転切換スイッチ
（☞27ページ）

昇降スイッチ
（☞30, 31ページ）

換気切換スイッチ

オートルーバースイッチ
（☞28, 29ページ）

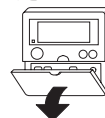
タイマー時間設定スイッチ

温度調節スイッチ
（☞28ページ）

フィルターリセットスイッチ
（☞34, 35ページ）

点検スイッチ
（☞28ページ）
このスイッチはサービスマン専用ですので押さないでください。

入/切タイマースイッチ

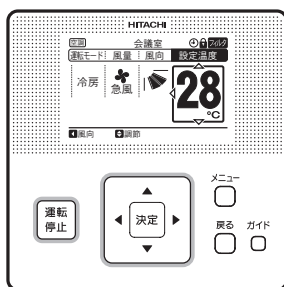
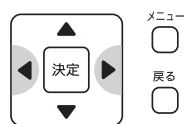
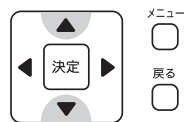
ふたの開けかた
手前へ引く

操作部

（上の図はふたを開けた状態を示しています。）

留意事項

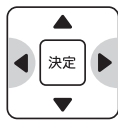
●アメニティリモコンの操作は**指で軽く押して**ください。
ボールペンなどの先のとがったもので操作すると**操作部の破損の原因**となることがあります。

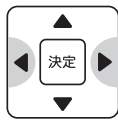
基本の操作

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

項目の選択	『◁』または『▷』**スイッチ**を押すごとに、［枠］の枠が 運転モード ⇔ 風量 ⇔ 風向 ⇔ 設定温度 と移動します。		
設定の変更	項目を選択した状態で、『△』または『▽』**スイッチ**を押すと設定内容が切り換わります。		

冷房・暖房・ドライ・冷暖自動・送風運転のしかた

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

暖房運転は、［冷暖房兼用機］のみの機能です。［冷房専用機］は、暖房運転できません。

準備	**電源**を入れます。 圧縮機保護のため、運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。 シーズン中は電源を切らないでください。		
1	『◁』または『▷』**スイッチ**で 運転モード を選択します。		
2	『△』または『▽』**スイッチ**を押すごとに、 冷房⇔暖房⇔ドライ⇔（冷暖自動）⇔送風 の順に切り換わります。		

●「冷暖自動」の使用については別途設定が必要です。詳しくはお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

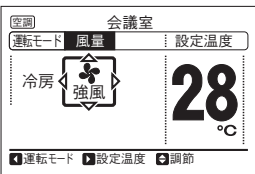
温度設定のしかた

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

1	『◁』または『▷』**スイッチ**で 設定温度 を選択します。		
2	『△』**スイッチ**を押すごとに、1℃ずつ上がります。(最高30℃) 『▽』**スイッチ**を押すごとに、1℃ずつ下がります。 (冷房・ドライ・送風モード時……最低19℃(中温型は10℃) 暖房モード時……………………最低17℃(中温型は10℃))		

●最高温度および最低温度は、機能選択の設定温度冷房下限値(または暖房上限値)設定により変更することができます。

風量設定のしかた

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

1	『◁』または『▷』**スイッチ**で 風量 を選択します。		
2	『△』または『▽』**スイッチ**を押すごとに、 左図のように切り換わります。		

●ドライ運転時は自動的に「弱風」になり、風量の切り換えはできません(表示は設定状態のままです)。

運転のしかた

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

運転	運転/停止 **スイッチ**を押します。 運転ランプが点灯します。 運転を開始します。		

温度・風量の設定　●一旦設定すると設定状態を記憶していますので**日常の設定は不要**です。
設定を変更する場合は前ページの操作をしてください。

停止	もう一度 運転/停止 **スイッチ**を押します。 運転ランプが消灯します。 運転を停止します。		

●暖房運転停止後、約２分間送風運転することがあります。

風向設定のしかた

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

1	運転停止 **スイッチ**を押して運転を開始した後、『◁』または『▷』**スイッチ**で 風向 を選択します。		
2	『△』または『▽』**スイッチ**を押すごとに、吹出角度が切り換わります。 （冷房およびドライ運転のときは65°～70°の位置で押しても、自動的に60°の位置に固定されます。） でオートスイングを開始します。このとき、液晶表示はスイングを繰り返します。		

液晶表示	風の吹出角度	冷房・ドライ	暖房・送風
	オートスイング		
	約40°	適正角度 / 冷房・ドライ時固定可能範囲	暖房・送風時固定可能範囲
	約45°		
	約50°		
	約55°		
	約60°		
	約65°		適正角度
	約70°		

●液晶表示の羽根の位置と、エアコンの風向調節羽根の位置はオートスイング時に必ずしも一致しません。固定する場合は、液晶表示の位置を見て風向角度を設定してください。
●スイッチを押しても羽根がすぐ停止しないことがあります。

暖房運転時、自動的に風向を変えます

暖房運転は、[冷暖房兼用機]のみの機能です。[冷房専用機]は、暖房運転できません。

●**暖房**運転開始時
●**除霜**運転中
●**温度**調節器作動時

自動的に吹出角度を**約40°**に**固定**します。

吹出温度が**30℃以上**に上がると自動的にお客様が設定された状態に戻ります。

液晶表示は設定したままの状態で変化しません。

空気吸込グリルの昇降のしかた

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

（昇降グリル付きパネルご使用の場合のみ、操作可能です。）

⚠注意

掃除後、昇降グリル付きパネルに収納するときの注意事項（☞37ページ）

空気吸込グリルを昇降グリル付きパネルに収納する際は、上昇させる前に空気吸込グリルが水平になっているか、また、吊りワイヤーがたるんでいないかを確認してください。
傾いたまま、または吊りワイヤーがたるんだまま上昇させると、カッシャなどに噛み込み、カッシャおよびカッシャ台が破損し、空気吸込グリルが落下し、ケガの原因になることがあります。

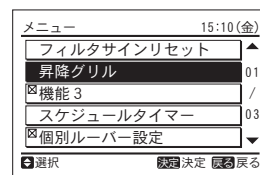
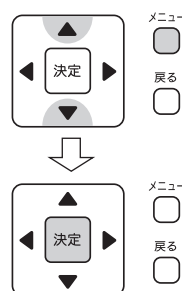
運転のしかた

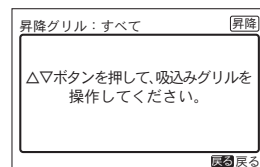
運転と働き

●エアーフィルターおよび空気吸込グリルの掃除のときに、昇降グリル付きパネルより空気吸込グリルを自動昇降させる運転です。

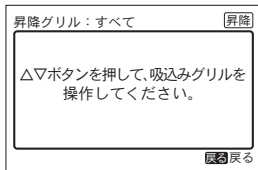
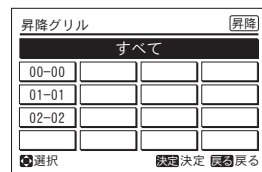
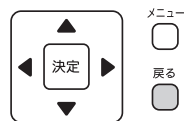
留意事項

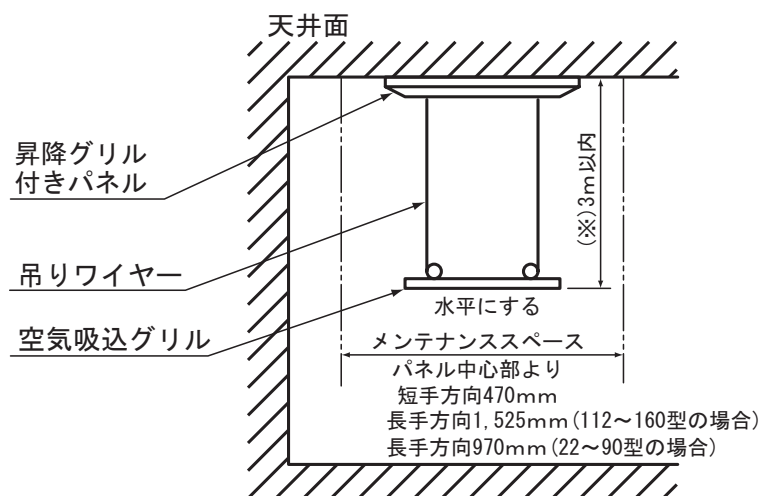
●空気吸込グリルを昇降操作するときは、エアコンの運転を必ず停止してから操作してください。
●エアコン運転中は昇降操作できません。

1	メニュー **スイッチ**を押します。 メニュー画面で 昇降グリル を選択して、 決定 **スイッチ**を押します。 室内ユニット選択を表示します。※		

※室内ユニットが１台の場合は 3項の昇降グリル操作画面を表示します。

2	『△』・『▽』・『◁』・『▷』**スイッチ**で空気吸込グリルを昇降操作する室内ユニットを選択して、決定 **スイッチ**を押します。 昇降グリル操作を表示します。	
3	『▽』**スイッチ**を押して、空気吸込グリルを下降させます。 エアーフィルターを取り外し、エアーフィルターを掃除します。 （☞34ページ）	

空気吸込グリルの昇降のしかた

PC-ARF1，PC-ARFVの場合

4	エアーフィルターの掃除が終了したら、エアーフィルターを取り付け、『△』**スイッチ**を押して、空気吸込グリルを上昇させます。 昇降グリル付きパネル内に空気吸込グリルが収納されると、約3秒後に停止します。 （空気吸込グリルが収納時傾いている場合は、再度『△』スイッチを押してください。傾きが修正されます。）	
5	戻る **スイッチ**を押すと、室内ユニット選択画面に切り換わります。 他の室内ユニットを昇降グリル操作する場合、2項以降の操作を行います。 操作を終了する場合は、再度 戻る **スイッチ**を押すと、メニュー画面に戻ります。 ●再度 戻る スイッチを押すと、運転操作画面（9ページ）に戻ります。	

留意事項

●空気吸込グリルは 最大 3m （※）まで下降します。

（※）下降の距離は、吊りワイヤーの巻きムラなどの影響により、設定距離に対し±30cmの範囲で変化します。エアーフィルターに手が掛かる位置まで下降しない場合は、再度▽スイッチを押して空気吸込グリルを下降させてください。
一度押すごとに50cmずつ空気吸込グリルが下降します。
出荷時は、2mに設定されています。
空気吸込グリルの下降距離は1 ～ 3mの間で設定することができます。詳しくはお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

●空気吸込グリル下降時、ほこりが落ちることがありますので注意してください。
●空気吸込グリル下降時、メンテナンススペース内に障害物や人がいないことを確認してください。
●空気吸込グリルの昇降動作は目視しながら行ってください。
●吊りワイヤーがたるんでいるときは、手で吊りワイヤーを少し下に引きながら巻き上げてください。

操作ロックのしかた

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

操作ロックで無効化する設定操作は､機能選択で選択することができます。
詳しくは､お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

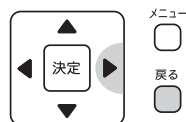
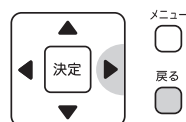
運転と働き

●多機能リモコンの設定操作を無効にさせる機能です。
●以下の4種類の設定操作を無効にできます。
(1)「運転モード」
(2)「設定温度」
(3)「風量」
(4)「風向」

運転のしかた

留意事項

●多機能リモコンの機能選択で設定操作無効化を選択後、下記の操作をすることで操作ロックができます。

1	『▷』**スイッチ**と 戻る **スイッチ**を同時に3秒押します。 🔒が点灯し､操作ロックが有効になります。 操作ロックで制限されている設定項目は､『◁』または『▷』**スイッチ**を操作しても選択できません。		
2	『▷』**スイッチ**と 戻る **スイッチ**を同時に3秒押します。 🔒が消灯し､操作ロックが無効になります。		

●『▷』スイッチと 戻る スイッチを同時に3秒押すごとに､操作ロックの｢有効⇔無効｣が切り換わります。

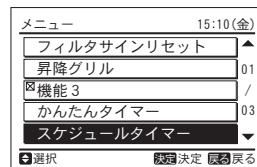
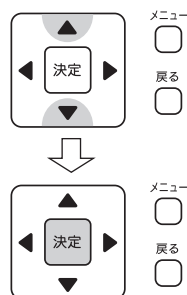
スケジュールタイマー設定のしかた(つづく)

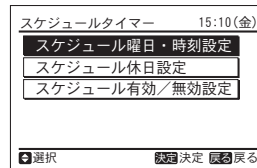
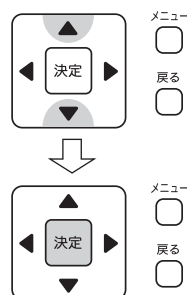
PC-ARF1, PC-ARFVの場合

機能と働き

●ご希望の時刻に運転を始めたり､止めたりする機能です。
●運転時に温度を設定することもできます。
●スケジュールタイマー設定は各曜日1日5回まで設定することができます。

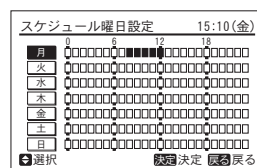
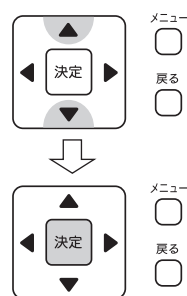
1

メニュー **スイッチ**を押します。
メニュー画面で スケジュールタイマー を選択して、決定 **スイッチ**を押します。
スケジュールタイマー設定を表示します。

2

『△』または『▽』**スイッチ**で スケジュール曜日･時刻設定 を選択して、決定 **スイッチ**を押します。
スケジュール曜日設定を表示します。

●現在時刻未設定時は、自動的に時計あわせ(☞ 24ページ)画面を表示します。

3

『△』または『▽』**スイッチ**で設定する曜日を選択して、決定 **スイッチ**を押します。
スケジュール時刻設定を表示します。

- 画面の■は運転、□は停止時間帯を示します。休日設定をしている場合は、▣を示します。
- 設定コピーする場合は、曜日を選択した状態で『◁』スイッチと決定スイッチを同時に押します。
  1つ前の曜日の設定内容をコピーします。

運転のしかた

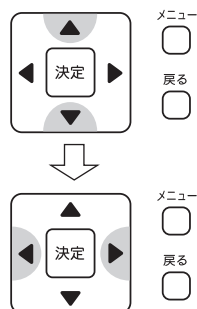
スケジュールタイマー設定のしかた(つづき)

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

4

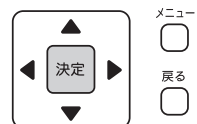
『△』または『▽』**スイッチ**で
スケジュールNo.[1]～[5]を、
『◁』または『▷』**スイッチ**で
「入時刻」･「切時刻」･「設定温度」を選択します。

「入時刻」･「切時刻」･「設定温度」選択では、
『△』または『▽』**スイッチ**で入切時刻または設定温度を設定します。

- 『△』または『▽』スイッチを押し続けると連続で増減します。
- 設定は各曜日1日5 回まで可能です。

上図は、入時刻8:30、切時刻12:15、設定温度28℃を示します。

5

[決定]**スイッチ**を押します。
設定確認を表示します。

メニュー
戻る

スケジュール時刻設定(月) 15:10(金)
スケジュール設定を確定します。
よろしいですか？
はい 他の曜日を設定 いいえ
選択 決定 決定 戻る 戻る

6

『◁』または『▷』**スイッチ**で はい を選択して、[決定]**スイッチ**を押すとスケジュール設定を確定して、運転操作画面(9ページ)に戻ります。

続けて他の曜日を設定する場合は、
他の曜日を設定 を選択して3項に戻り、3項～6項の設定を繰り返します。

スケジュール設定を示す(時計マーク)を表示します。

- リモコン禁止中はスケジュール運転停止をしません。
- (×マーク)を表示している場合、スケジュール運転できません。24 ページの「時計あわせのしかた」を参照して年月日時刻を設定してください。

スケジュール休日設定のしかた(つづく)

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

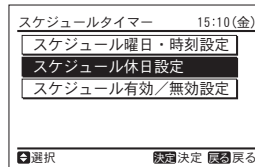
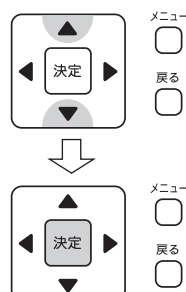
機能と働き

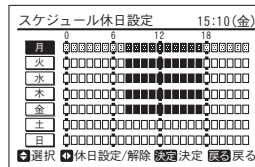
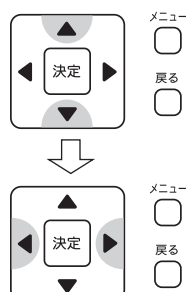
●スケジュール運転を一時的に稼動させない機能です。
●休日設定した曜日は、1日だけスケジュール運転をしません。その後、自動的に復旧します。
●祝日などの不規則な休みがある場合に使用します。

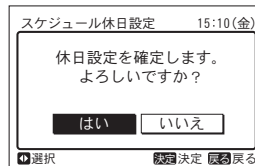
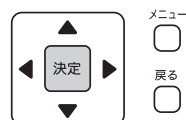
1

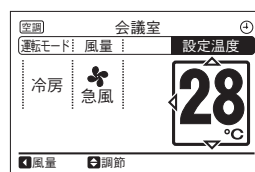
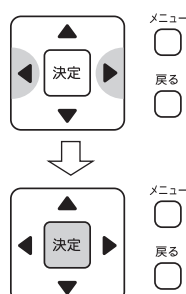
メニュー画面で スケジュールタイマー を選択して、決定 **スイッチ**を押します。
スケジュールタイマー設定を表示します。

2

『△』または『▽』**スイッチ**で
スケジュール休日設定 を選択して、
決定 **スイッチ**を押します。
スケジュール休日設定を表示します。

3

『△』または『▽』**スイッチ**で休日設定する曜日を、『◁』または『▷』**スイッチ**で休日設定⇔解除を選択します。
- 休日設定した場合、運転停止時刻を示す ■ が ■ のように表示します。

4

すべての曜日の休日設定が完了したら、
決定 **スイッチ**を押します。
設定確認を表示します。

5

『◁』または『▷』**スイッチ**で はい を選択して、決定 **スイッチ**を押すと、スケジュール休日設定を確定して運転操作画面(9ページ)に戻ります。

●休日設定曜日はスケジュール設定を示す ⊕ 表示が消灯します。

運転のしかた

スケジュール休日設定のしかた(つづき)

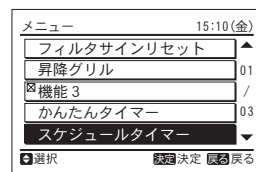
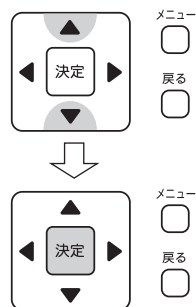
PC-ARF1, PC-ARFVの場合

■スケジュール有効／無効設定

機能と働き

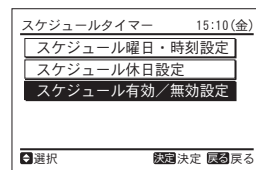
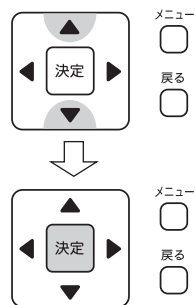
●スケジュール運転を一時的に稼動させない機能です。
●スケジュール無効設定中はタイマー運転をしません。
●長期間の休みがある場合に使用します。

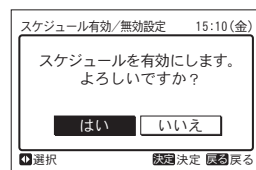
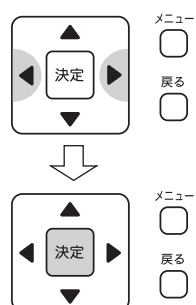
1

メニュー **スイッチ**を押します。
メニュー画面で スケジュールタイマー を選択して、決定 **スイッチ**を押します。
スケジュールタイマー設定を表示します。

2

『△』または『▽』**スイッチ**で
スケジュール有効／無効設定 を選択して、
決定 **スイッチ**を押します。
スケジュール有効／無効設定確認を表示します。

- スケジュール有効のときは、スケジュール無効設定確認、スケジュール無効のときは、スケジュール有効設定確認を表示します。

3

『◁』または『▷』**スイッチ**で はい を選択して、決定 **スイッチ**を押すとスケジュール有効／無効設定を確定して、運転操作画面(9ページ)に戻ります。

- スケジュール有効設定時は⊕表示が点灯します。
- スケジュール無効設定時は⊕表示が消灯します。

●スケジュール無効設定時はスケジュール運転停止をしません。

空調･換気切換設定のしかた

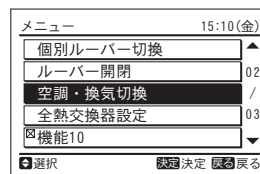
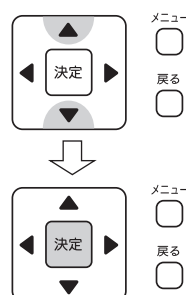
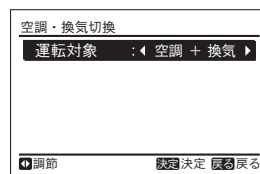
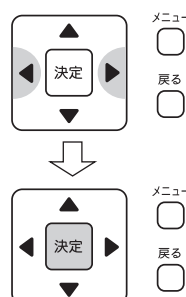
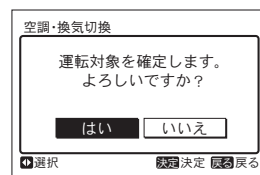
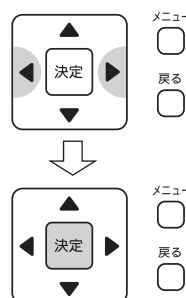
PC-ARF1, PC-ARFVの場合

機能と働き

- **空調**……………… エアコンが単独で運転します。
- **換気**……………… 全熱交換器が単独で運転します。
- **空調＋換気** …… エアコンと全熱交換器が連動運転します。

留意事項

- 本機能は、エアコンと全熱交換器を連動する場合に有効です。

1	メニュー **スイッチ**を押します。 メニュー画面で **空調･換気切換** を選択して、 決定 **スイッチ**を押します。 空調･換気切換を表示します。		
2	『◁』または『▷』**スイッチ**を押すごとに、**空調** ⇔ **換気** ⇔ **空調＋換気** の順に表示します。 空調…………エアコンが単独で運転します。 換気…………全熱交換器が単独で運転します。 空調＋換気…エアコンと全熱交換器が連動運転します。 運転対象を選択して、決定 **スイッチ**を押します。設定確認を表示します。		
3	『◁』または『▷』**スイッチ**で **はい** を選択して、決定 **スイッチ**を押すと運転対象を切り換え、運転操作画面(9ページ)に戻ります。		

全熱交換器設定のしかた

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

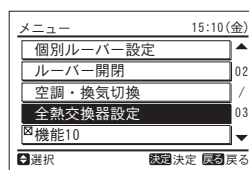
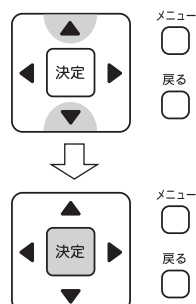
機能と働き

●全熱交換器の換気モードを切り換えます。

留意事項

●本機能は、全熱交換器を接続している場合に有効です。
●エアコン運転中は設定できません。

1

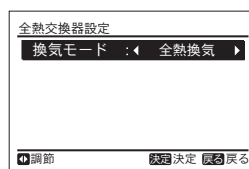
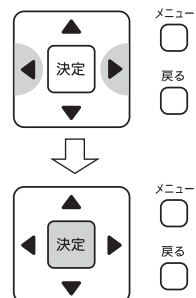
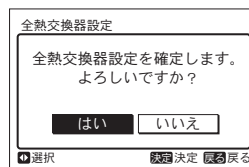
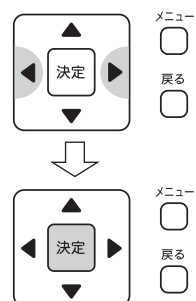
メニュー **スイッチ**を押します。
メニュー画面で 全熱交換器設定 を選択して、
決定 **スイッチ**を押します。
全熱交換器設定を表示します。

2

『◁』または『▷』**スイッチ**を押すごとに、自動換気 ⇔ 全熱換気 ⇔ 普通換気 の順に表示します。

換気モードを選択して、決定 **スイッチ**を押します。
設定確認を表示します。

3

『◁』または『▷』**スイッチ**で はい を選択して、決定 **スイッチ**を押すと設定を確定して、運転操作画面(9ページ)に戻ります。

運転のしかた

時計あわせのしかた

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

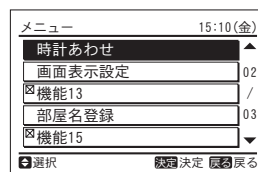
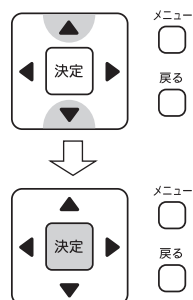
機能と働き

●年月日時刻を設定します。

●時計の精度は月差約±70秒以内です。定期的に現在時刻を合わせることをお勧めします。

●多機能リモコンは電池を内蔵しているため、停電しても約72時間は時計が動き続けます。
72時間以上停電した場合、または長期間元電源を切っていた場合は、再設定してください。

1

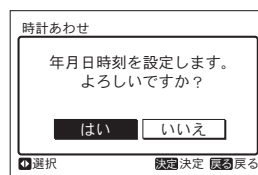
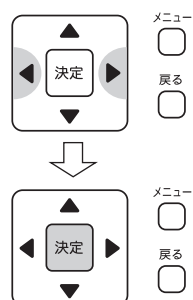
メニュー **スイッチ**を押します。
メニュー画面で **時計あわせ** を選択して、
決定 **スイッチ**を押します。
時計あわせを表示します。

2

『◁』または『▷』**スイッチ**を押して、
「年」・「月」・「日」・「時」・「分」を選択します。
『△』または『▽』**スイッチ**を押して、設定内容を変更します。

●『△』または『▽』スイッチを押し続けると連続で増減します。

全設定後に、決定 **スイッチ**を押します。
設定確認を表示します。

3

『◁』または『▷』**スイッチ**で **はい** を選択して、決定 **スイッチ**を押すと設定を確定して、運転操作画面(9ページ)に戻ります。

その他の液晶表示について

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

通常時の表示

<table>
<tr><td>集　中
制御中</td><td>●「集 中 制 御」が点灯します。
集中コントローラーからリモコン禁止の設定をしている場合、多機能リモコンから運転・温度設定・風量設定・風向設定ができません。</td><td>
</td></tr>
<tr><td>温　度
調節器</td><td colspan="2">温度調節器作動のとき
●表示は変わりませんが、弱風運転になります。
（暖房運転時のみ）</td></tr>
<tr><td>除　霜
（冷暖房兼用機のみ
ビル用マルチ冷暖同時機を含む）</td><td>除霜運転のとき
● 除霜中 が点灯し、室内送風機は停止します。
風は水平に吹き出すように固定されます。

除霜運転中に運転を停止させたとき
●運転ランプは消えますが、運転は続行し、除霜終了後に停止します。</td><td>
</td></tr>
<tr><td rowspan="3">運　転
制　御</td><td>電源投入時
● ホットスタート が点灯します。
圧縮機の予熱中です。最大で4時間運転できないことがありますので、冷暖房シーズン中は室外ユニットの電源を切らないでください。</td><td>
</td></tr>
<tr><td>ホットスタートのとき（暖房運転時のみ）
● ホットスタート が点灯します。
停止中は消灯します。</td><td>
</td></tr>
<tr><td>多機能リモコンから設定した運転モードと室外ユニットの運転モードが異なるとき
（室外ユニットが冷暖同時以外のとき）

●実運転モードが点滅します。</td><td>

室外ユニットの運転モードが「暖房」のときに、多機能リモコンから「冷房」設定した場合。</td></tr>
</table>

その他の液晶表示について

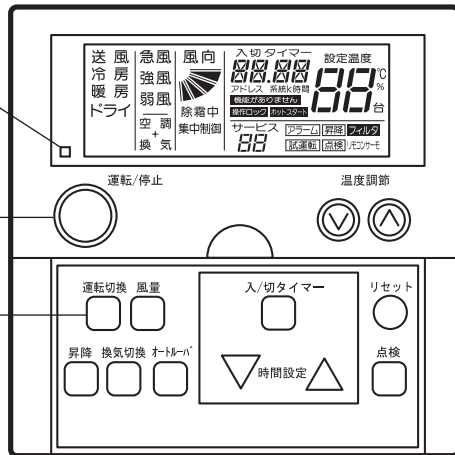
PC-ARF1,PC-ARFVの場合

異常時の表示

異　常	●運転ランプ(赤色)が点滅します。 ●液晶に室内ユニット番号・**アラームコード**・機種コード・据付台数が表示されます。 ●多機能リモコンが複数台の室内ユニットと接続されている場合は、機器切換をすることにより、室内ユニットごとに順次表示します。
停　電	●すべての**表示が消え**ます。 ●停電などで運転が止まると、再び通電されても**再運転**しません。運転操作をやり直してください。 ●**約2秒**までの瞬時停電の場合は、自動的に**再運転**します。
ノイズ	●すべての**表示が消え**、運転も停止することがあります。これはノイズの影響で装置保護のためマイコンが作動したものです。運転操作をやり直してください。

冷房・暖房・ドライ・送風運転のしかた

PC-AR1の場合

暖房運転は、[冷暖房兼用機]のみの機能です。[冷房専用機]は、暖房運転できません。

運転と働き

- **冷房運転** ・・・・・ お部屋の空気を冷やします。
- **暖房運転** ・・・・・ お部屋の空気を暖めます。
- **ドライ運転** ・・・ 通常の冷房運転より湿度を多めに取ります。
- **送風運転** ・・・・・ 室内の空気を循環させせます。

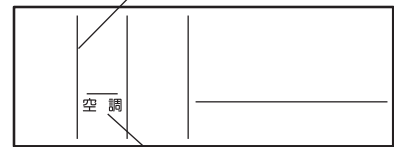
メモ おすすめ**経済温度**は次のとおりです。

- 冷房運転・・・・・・・・・・・・・・・・27 ～ 29℃
- 暖房運転・・・・・・・・・・・・・・・・18 ～ 20℃
- ドライ運転・・・・・・・・・・・・・・23 ～ 25℃

運転のしかた

準備

電源を入れます。
圧縮機保護のため、運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。
シーズン中は電源を切らないでください。

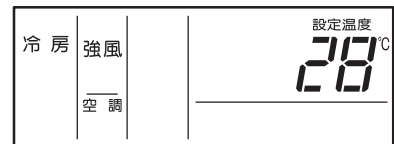
"液晶に仕切線が表示されます。"

"液晶に「運転対象」が表示されます。"

1

運転切換 **スイッチ**を押します。
押すごとに、→冷房→暖房→ドライ→送風─ の順に表示されます。
(冷房専用型は →冷房→ドライ→送風─)

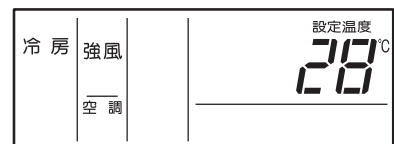
(「冷房」モードに設定した場合を示します。)

2

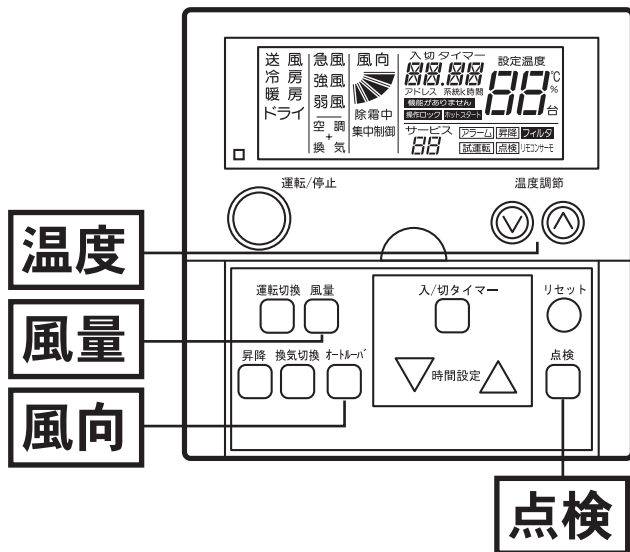
運転／停止 **スイッチ**を押します。
運転ランプが点灯します。
運転を開始します。

温度・風量・風向の設定

● 一旦設定すると設定状態を記憶していますので**日常の設定は不要**です。設定を変更する場合は次のページの操作をしてください。

停止

もう一度 運転／停止 **スイッチ**を押します。
運転ランプが消灯します。
運転を停止します。

● 暖房運転停止後、約2分間送風運転することがあります。

温度・風量・風向設定のしかた

PC-AR1の場合

メモ　点検 スイッチは触らないでください

● 点検 スイッチはサービス専用です。

●誤って押して点検モード（点検 が点灯）になったときは、もう一度 点検 スイッチを約3秒間押してください。

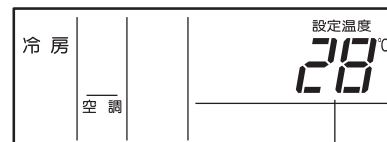
約10秒間おいてもう一度 点検 スイッチを押すと元の運転モード（点検 が消灯）に戻ります。

温度

温度調節 スイッチを押します。

△部を押すごとに、1℃ずつ上がります。（最高30℃）

▽部を押すごとに、1℃ずつ下がります。

（冷房・ドライ・送風モード時……最低19℃（中温型は10℃）
暖房モード時…………………………最低17℃（中温型は10℃））

（28℃に設定した場合を示します。）

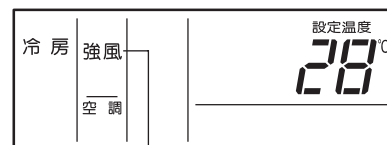
留意事項

●機能選択で設定温度自動復帰設定時は、温度変更から一定時間経過後に自動的に温度が変わります。
●設定可能な温度の最高および最低値は、「機能選択の設定温度冷房下限値（または暖房上限値）設定」により変更することができます。
●機能選択の「設定温度自動復帰設定」、「設定温度冷房下限値（または暖房上限値）設定」については、お買い上げの店にまたはメーカー指定のお客様ご相談窓口ご相談ください。

風量

風量 スイッチを押します。

押すごとに、→急風→強風→弱風→ と表示が切り換わります。

通常は「強風」で使います。

（「強風」に設定した場合を示します。）

●ドライ運転時は自動的に「弱風」となり、風量の切り換えはできません（表示は設定状態のままです）。

風向

オートルーバ スイッチを押します。

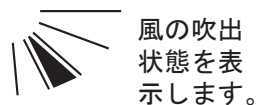
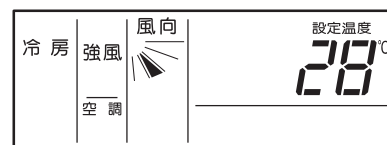
一度押すごとに、オートスイング⇔固定を繰り返します。

<固定の場合>

風の吹出状態を表示します。

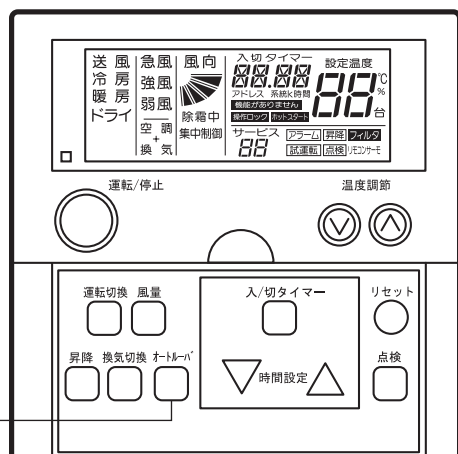
<オートスイングの場合>

連続的に◀表示が移動します。

冷房　強風　風向　空調　設定温度 28℃

●暖房運転時は自動的に風向を変えます。（☞14ページ）

風向の調節のしかた

PC-AR1の場合

1

運転と働き

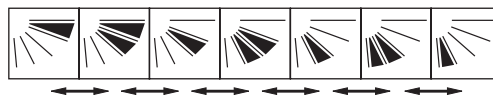
- 風の吹き出し方向をご希望の角度にする運転です。
- 風の吹き出し方向の設定は、次の2通りがあります。

固定

ご希望の角度に風向を固定することができます。

オートスイング

連続的に風向を変えることができます。

1	オートルーバ **スイッチ**を押します。 一度押すごとに固定とオートスイングを繰り返します。	固定・・・・表示が停止します。 オートスイング・・・表示が連続的に変化します。
固定の方法	オートスイングさせ、**液晶表示が希望する吹出角度へきたら**再度 オートルーバ **スイッチ**を押します。 （冷房およびドライ運転のときは65°～70°の位置で押しても、自動的に60°の位置に固定されます。）	(下表参照)

液晶表示							
風の吹出角度	約40°	約45°	約50°	約55°	約60°	約65°	約70°
冷房、ドライ	適正角度 冷房・ドライ時固定可能範囲						
暖房	暖房時固定可能範囲					適正角度	

- 液晶表示の羽根の位置と、エアコンの風向調節羽根の位置は、オートスイング時に必ずしも一致しません。固定する場合は、液晶表示の位置を見て風向角度を設定してください。
- スイッチを押しても羽根がすぐにスイングおよび停止しないことがあります。
- 風向調節羽根は、オートスイング時約20～25秒の周期でスイングを繰り返します。

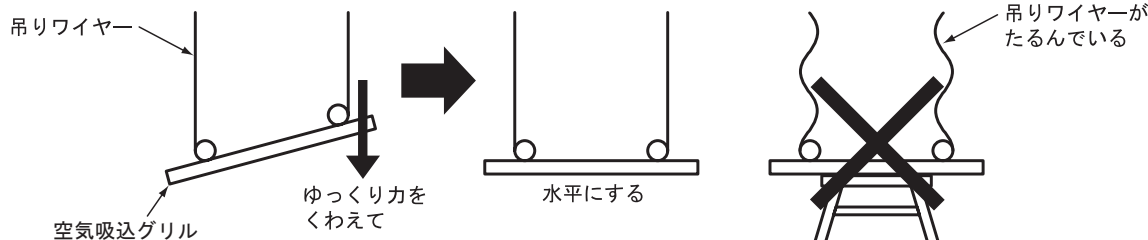
空気吸込グリルの昇降のしかた(つづく)

(昇降グリル付きパネルご使用の場合のみ、操作可能です。)

PC-AR1の場合

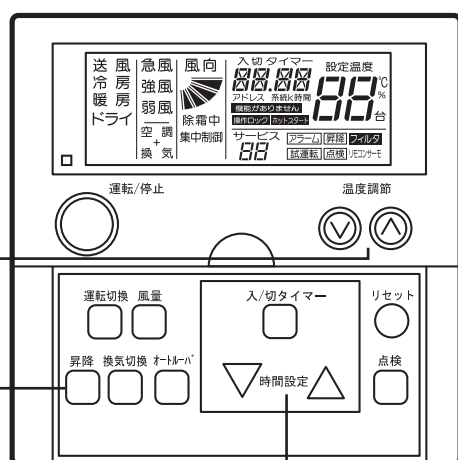
⚠注意

掃除後、昇降グリル付きパネルに収納するときの注意事項(☞37ページ)

空気吸込グリルを昇降グリル付きパネルに収納する際は、上昇させる前に空気吸込グリルが水平になっているか、また、吊りワイヤーがたるんでいないかを確認してください。
傾いたまま、または吊りワイヤーがたるんだまま上昇させると、カッシャなどに噛み込み、カッシャおよびカッシャ台が破損し、空気吸込グリルが落下し、ケガの原因になることがあります。

運転と働き

● エアーフィルターおよび空気吸込グリルの掃除のときに、昇降グリル付きパネルより空気吸込グリルを自動昇降させる運転です。

留意事項

● 空気吸込グリルの昇降を操作するときは、エアコンの運転を必ず停止してから操作してください。エアコン運転中は昇降動作できません。
● 注意事項がありますので、15,16ページをご覧ください。

1	エアコン停止中に 昇降 **スイッチ**を押します。 昇降グリル操作モードに切り換わり、昇降 の文字が点灯します。	 (昇降 の文字が点灯します。)
2	複数台を1つのリモコンスイッチで操作している場合、温度調節 ▽△ **スイッチ**を押して、昇降させたいアドレスに設定します。 (1つのリモコンで1台を操作している場合は、本操作は不要です。)	 (アドレスの数字が変わります。)
3	▽時間設定△ **スイッチ** の▽スイッチを **一度押して**、空気吸込グリルを下降させます。 ・▽スイッチを一度押すと空気吸込グリルが設定距離まで下降します。 ・設定された下降距離より更に下降させたい場合、▽スイッチを再度押します。一度押すごとに50cmずつ空気吸込グリルが下降します。 ・下降中に停止したい場合は、△スイッチを押すと、任意の位置で停止します。	 (昇降動作中は 昇降 が点滅します。)

空気吸込グリルの昇降のしかた(つづき)

(昇降グリル付きパネルご使用の場合のみ、操作可能です。)

PC-AR1の場合

4

▽時間設定△**スイッチ**の△スイッチを

一度押します。

昇降グリル付きパネル内に空気吸込グリルを収納し、約3秒後に停止します。

(空気吸込グリルが収納時傾いている場合は、再度△スイッチを押してください。傾きが修正されます。)

・上昇中に停止したい場合は、▽スイッチを押すと、任意の位置で停止します。

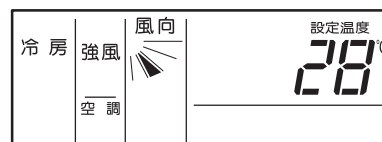
・空気吸込グリルが極端に傾いている場合は、▽スイッチを押し、一旦空気吸込グリルを下まで降ろした後、再度△スイッチを押してください。

(昇降グリル付きパネル内に空気吸込グリル収納後、自動停止したとき、昇降が点滅から点灯に変わります。)

5

収納が完了したら

昇降 **スイッチ**を押します。

昇降操作は終了になり、通常のエアコン運転ができます。

冷暖自動運転について

冷暖自動運転は、[店舗/オフィス用冷暖房兼用シングル機]・[ビル用マルチ冷暖同時システム]のみの機能です。上記以外のシステムでは、冷暖自動運転できません。また、本機能は、冷房・暖房で温度変化が大きくなりますので、ご注意ください。

冷暖自動運転は、機能選択にて設定する必要があります。
詳しくは、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

運転と働き

●**冷暖自動運転** ...ご希望の温度を基準にして、自動的に「冷房」と「暖房」を切り換える運転です。

●吸込空気温度が設定温度より約3℃高いと「冷房」に、約3℃低いと「暖房」へと自動的に切り換わります。

メモ

●「弱風」で暖房運転すると、保護装置などが作動して運転停止しやすくなります。このようなときは「急風」または「強風」でお使いください。

●外気温度が高く（約21℃以上）なると暖房運転はできません。

自動運転について

自動で次の運転をします

暖房運転は、[冷暖房兼用機]のみの機能です。[冷房専用機]は、暖房運転できません。

<table>
<tr><td colspan="2">3分ガード</td><td>圧縮機運転停止後、圧縮機保護のために、最低3分間は圧縮機は再運転しません。約3分後には自動的に再運転します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">冷房運転時</td><td>凍結防止</td><td>室内ユニットの熱交換器の温度が異常に下がると自動的に圧縮機を止めて、送風運転をして熱交換器が凍結するのを防止します。</td></tr>
<tr><td>膨張弁セルフクリーニング運転</td><td>冷房運転時、停止中の室内ユニットから時々冷媒の流れる音がします。
これは、膨張弁セルフクリーニング運転をしているためで故障ではありません。
なお、この運転はビル用マルチエアコンのみ実施します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">暖房運転時</td><td>ホットスタート</td><td>暖房運転開始時、除霜運転後および暖房時の吹出温度が低いときに冷たい風が出ないように、風量を自動的に「微風→弱風→設定風量」と徐々に変えます(最大約2分間送風機が停止することがあります)。このとき、リモコンスイッチに ホットスタート が表示され、吹出口の風向調節羽根は固定されますが、自動的に元に戻ります。</td></tr>
<tr><td>除霜運転</td><td>除霜運転中は冷たい風が出ないように、室内送風機は停止します。
このとき、風向調整羽根は自動的に固定されますが、除霜終了後、元に戻ります。</td></tr>
<tr><td>余熱排除</td><td>暖房運転停止時、室内ユニット内部の温度を下げるために、最大約2分間微風運転をする場合があります。</td></tr>
<tr><td>過負荷防止</td><td>暖房運転のとき、室内温度によって異なりますが、外気温度が高い（約21℃以上）場合は運転を停止します。</td></tr>
</table>

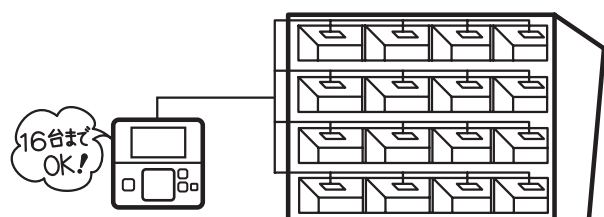
留意事項

- 暖房方式は部屋全体を暖める温風循環方式のため、部屋が大きい場合や室内温度が極端に低い状態から運転を開始した場合には、部屋全体が温まるまでに時間がかかります。部屋全体が温まると ホットスタート の文字は消えます。
- 除霜運転中および除霜運転直後に ホットスタート が表示される場合があります。冷風感を防止するため『ホットスタート制御』を作動させているためで、異常ではありません。

運転のしかた

複数台同時運転について

複数台のエアコン(最大16台、ただし、ツインは最大8セット、トリプルは最大5セット、フォーは最大4セット)を1つのリモコンスイッチで同時に操作できます。

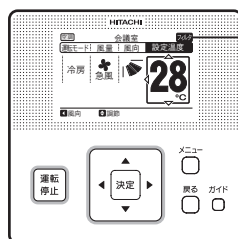
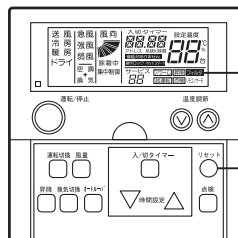
詳しくはお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

お手入れのしかた（つづく）

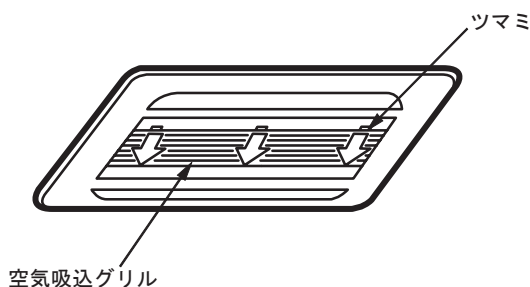
⚠警告	●お手入れの際は、必ずエアコンの元電源を切ってから作業してください。感電および傷害の原因になります。	❗
	●お手入れの際は、足場はしっかりしたものを使用してください。転倒および傷害の原因になります。	❗
⚠注意	●エアーフィルターや空気吸込グリルの取り付け時・取り外し時は手でしっかり保持してください。落下および傷害の原因になることがあります。	❗

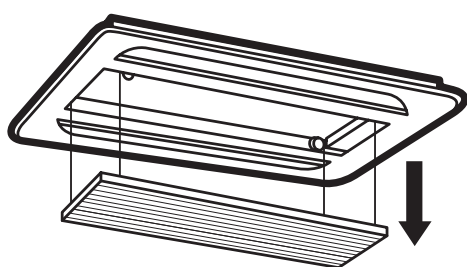
日常のお手入れ

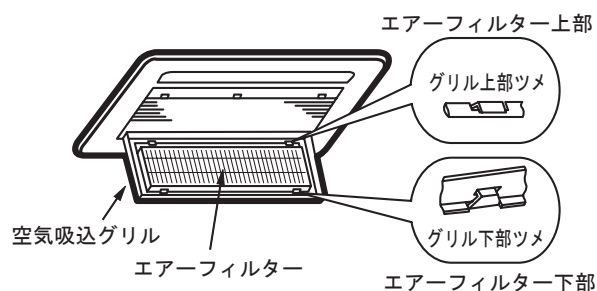
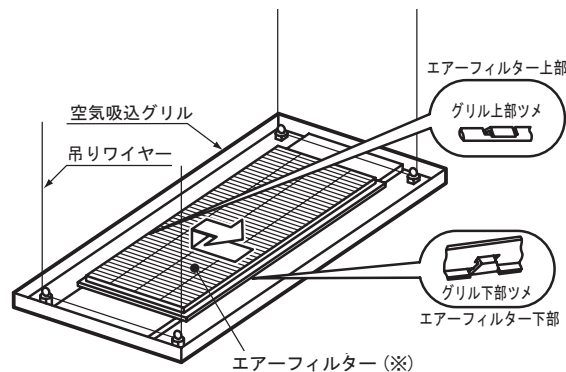
エアーフィルターの掃除のしかた

フィルターサインが点灯したらエアーフィルターの掃除をしてください。

・PC-ARF1
・PC-ARFV

・PC-AR1

1 空気吸込グリルを開けます。

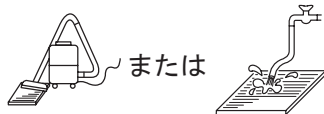
●空気吸込グリル両端のツマミを矢印方向にスライドさせ、空気吸込グリルを下側に開けます。

《昇降グリル付きパネルの場合》

●昇降グリル付きは空気吸込グリルを下降させます。（15,31ページの「空気吸込グリルの昇降のしかた」をご覧ください。）

2 エアーフィルターを取り出します。

●空気吸込グリルの下側を支えながら、エアーフィルターを持ち上げます。グリル下部のツメから外してエアーフィルターを取り外します。

《昇降グリル付きパネルの場合》

（※）図象は22 ～ 90型の場合を示します。112 ～ 160型の場合はエアーフィルターが2枚になります。

お手入れのしかた（つづき）

3 掃除します。

●エアーフィルターの汚れは電気掃除機で取り除くか、水および中性洗剤で洗い流してください。

●エアーフィルターは日陰で自然乾燥させてください。

留意事項

●50℃以上のお湯は使用しないでください。熱により変形する恐れがあります。
●直火・ドライヤー・ヒーターなどで乾かさないでください。エアーフィルターの変形の原因になることがあります。

4 エアーフィルターを取り付けます。

●エアーフィルターが乾いたら、必ず元どおり空気吸込グリルの収納部に正しく入れてください。

5 空気吸込グリルを閉めます。

留意事項

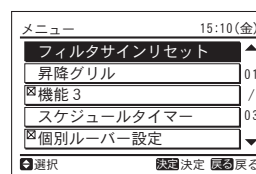
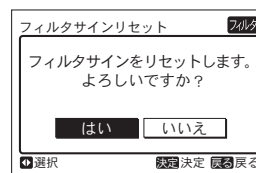
●エアーフィルターを取り付けてください。外したまま運転すると故障の原因になることがあります。

6 フィルターサインをリセットします。

●PC-ARF1, PC-ARFVの場合

留意事項

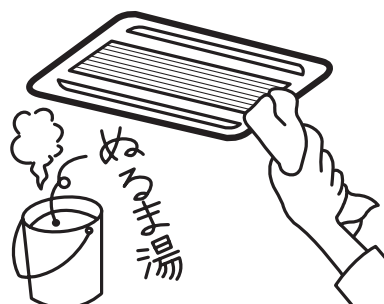
●設定されている積算時間に達していない場合は☒印が点灯し、「設定できません」が表示されます。

(メニュー)スイッチを押します。
メニュー画面で フィルタサインリセット を選択して、
(決定)スイッチを押します。
フィルターサインリセット確認を表示します。

『◁』または『▷』スイッチで はい を選択して、(決定)スイッチを押します。
フィルタ の表示が消えて、運転操作画面に戻ります。

●PC-AR1の場合
運転を再開するときには、必ずアメニティリモコンのフィルターサインの(リセット)スイッチを押してください。フィルターサインが消灯して、次の掃除までの時間をカウントし始めます。

空気吸込グリルの取り外しかた・取り付けかた・掃除のしかた

ぬるま湯を含ませた柔らかい布を固く絞って拭いてください。

留意事項

●空気吸込グリルやパネルのお手入れには柔らかい布を使ってください。ベンジン・シンナー・洗剤（界面活性剤入り）などを使うと樹脂部分が変色や変形する原因になることがあります。また、吹出口周辺の部品（風向調節羽根など）は、力を入れすぎると破損する恐れがありますので、特に注意してください。

お手入れのしかた（つづく）

空気吸込グリルは取り外して掃除することができます。

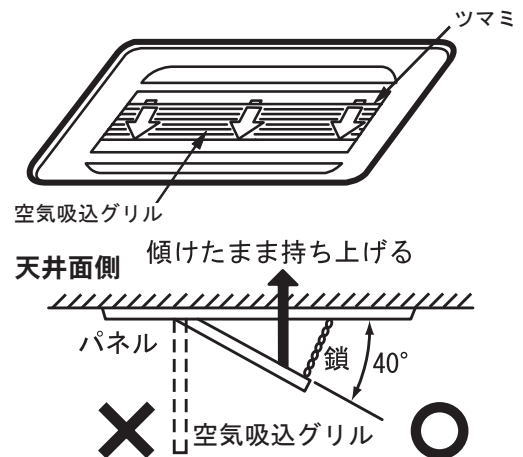
1 **空気吸込グリルを開けます。**

●空気吸込グリル両端のツマミを矢印方向にスライドさせ、空気吸込グリルを開けます。

2 **パネルから鎖を取り外します。**

3 **空気吸込グリルを取り外します。**

●空気吸込グリルを約40°傾けたまま上に持ち上げます。
●そのまま手前に引いて空気吸込グリルを取り外します。

空気吸込グリルは落下防止鎖を外すと90°開きますが、そのままでは取り外せません。

4 **掃除します。**

5 **空気吸込グリルを取り付けます。**

●取り付けは取り外したときの逆の手順で行います。

《昇降グリル付きパネルの場合》

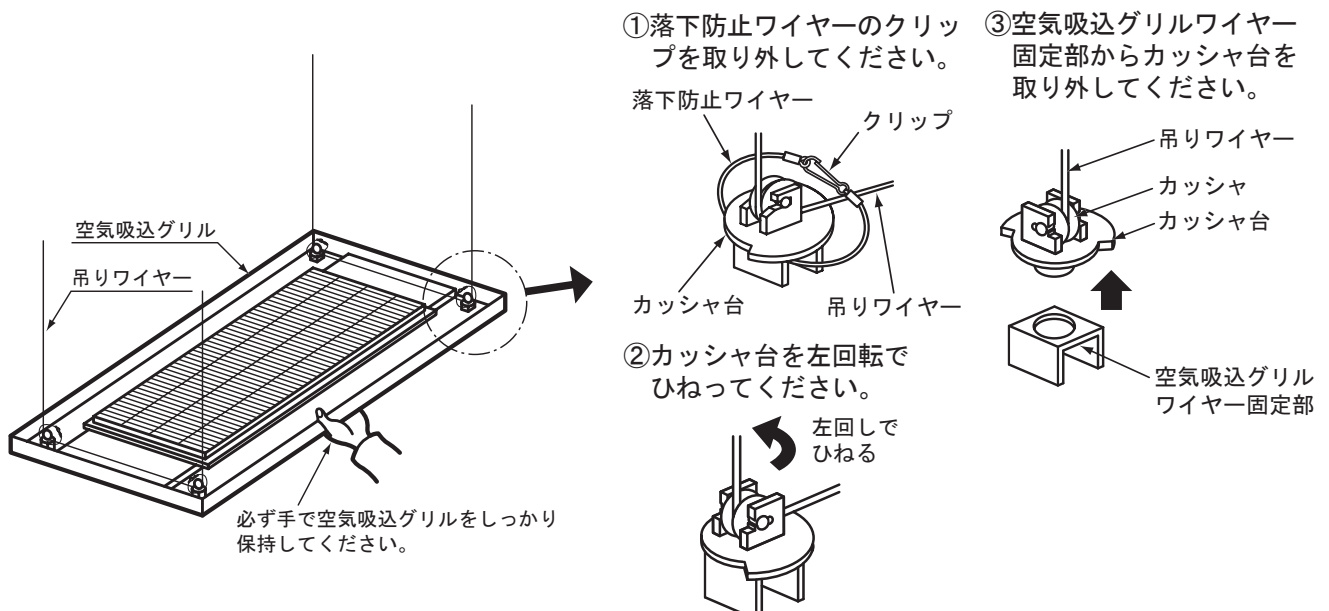
⚠注意
●空気吸込グリルの昇降やエアーフィルターの取り付け時・取り外し時は、この取扱説明書に従って確実に実施してください。
落下および傷害の原因になることがあります。

1 **空気吸込グリルを下降させます。**

2 **空気吸込グリルの吊りワイヤー固定部のカッシャ台を外し、空気吸込グリルを取り外します。（4ヵ所）**

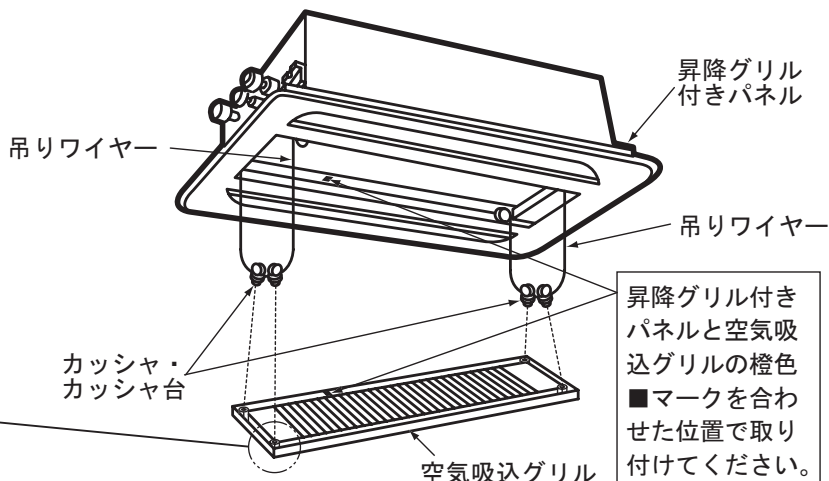
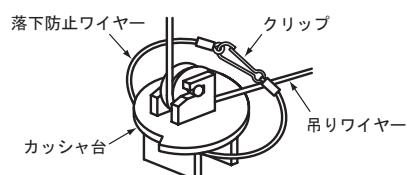
①落下防止ワイヤーのクリップを取り外してください。

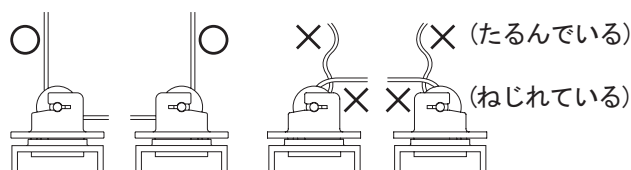
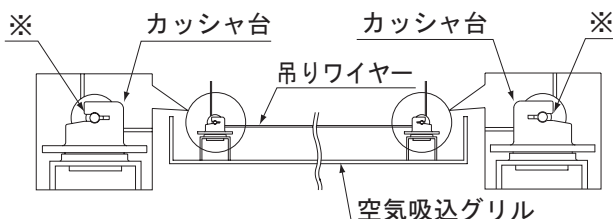
②カッシャ台を左回転でひねってください。

③空気吸込グリルワイヤー固定部からカッシャ台を取り外してください。

お手入れのしかた(つづき)

3 掃除します。

4 空気吸込グリルを取り付けます。

●空気吸込グリルが乾いたら、取り外しの時の逆の手順で空気吸込グリルを取り付けます。

留意事項

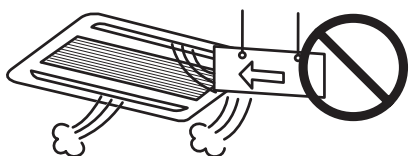
●※印部が空気吸込グリルの外側になるように、また、吊りワイヤーが絡まないようにカッシャ台を取り付けてください。

⚠注意

●カッシャ台の取付方向の誤りおよび吊りワイヤーに絡みがあると、カッシャなどに噛み込み、カッシャおよびカッシャ台が破損して空気吸込グリルが落下し、ケガの原因になることがあります。

●空気吸込グリルを昇降グリル付きパネルに収納する際は、上昇させる前に空気吸込グリルが水平になっているか、また、吊りワイヤーがたるんでいないかを確認してください。
傾いたまま、または吊りワイヤーがたるんだまま上昇させると、カッシャなどに噛み込み、カッシャおよびカッシャ台が破損して空気吸込グリルが落下し、ケガの原因になることがあります。

シーズン始めと終わりのお手入れ

シーズン 始め

●室内ユニットと室外ユニットの空気吸込グリルおよび**空気吹出口の障害物**を取り除いてください。

●室内ユニットの**エアーフィルターがつまっていない**ことを確認してください。

シーズン 終わり

●エアーフィルター・空気吸込グリル・パネルを掃除してください。

故障かなと思ったら（つづく）

こんなときは故障ではありません

症状		原因
運転が止まる	リモコンスイッチの表示灯がすべて消えたとき。	電磁波などの影響で、装置保護のためにマイコンが作動したためです。運転操作を初めからやり直せば元に戻ります。
	停電があったとき。	運転操作を初めからやり直してください。 なお、約2秒までの瞬時停電は、自動的に再運転します。
白い霧状の水蒸気が出る	暖房運転のとき。	暖房運転時の除霜運転中にこのような現象が起こる場合があります。
白い煙が出る	暖房シーズン始めの運転開始のとき。	室内ユニットの熱交換器に付着していたゴミが乾燥するためです。
霧が出る	飲食店や厨房などで使用している場合。	油脂類がフィンに多量に付着すると熱交換が悪くなり、霧を発生させることがあります。 ●ヒーター付機の使用はおやめください。
	ドライ運転のとき。	空気吹出温度が低くなったためです。運転パターンを変更してください。
	湿度の高い雰囲気での冷房運転のとき。	空気吹出温度が低くなったためです。設定温度を上げたり、風量を上げるなどしてください。
においが出る	運転中、室内ユニットから吹き出す風がくさい。	タバコの煙や部屋のにおいなどが室内ユニット内部に付いたためです。 エアーフィルター・空気吹出口・空気吸込グリルのお手入れや、送風運転で換気を十分してからご使用になると効果がある場合があります。
音が出る	運転の始めや運転の終わりのときに「ミシッ」という音がする。	樹脂部品が温度の変化によって伸縮して、相手部品とこすれる音です。
	運転中に「シュー」という水の流れる音や「ボコボコ」という水が沸騰するような音がする。	冷媒が流れる音またはドレンアップ機構がドレン水をかき出す音です。特に運転開始時や圧縮機停止時（約3分間）に聞こえる場合があります。
	風量を切り換えた直後に「ウォンウォン」といううなり音が一時的にする。	送風機の回転速度が変化することにより発生する、モーター特性上の一時的な音です。
露がつく	パネルやキャビネットに結露または露が落下する。	高湿度（相対湿度約80％）で長時間運転すると、結露する場合があります。
温度むらがある	それぞれの空気吹出口の風量（風速）および空気吹出温度が均一でない。	空気吹出口の大きさ熱交換器の配置などの構造的な理由で分布が均一となっていないものです。
リモコンスイッチ表示の ホットスタート が点灯する		運転モードおよび運転条件により、点灯または点滅することがあります。（☞ 25ページ）
リモコンスイッチ表示の運転モードが点滅する		

お手入れ・アフターサービス

《昇降グリル付きパネルの場合》

症　　状		原　　因
空気吸込グリルが動かない	停電があったとき。	停電復帰後、再運転してください。 下降中に停電した場合、復帰後下降指示を押しても、保護のため一度昇降グリル付きパネルに収納されます。その後、通常の操作が可能になります。
	空気吸込グリルが何かに引っ掛かっている場合。	引っ掛かっている物を取り除いてください。
空気吸込グリルが収納できない（上昇しない）		空気吸込グリルの上に物が載っていたり、エアーフィルターが正しく取り付けられていないことが考えられます。載っている物を取り除き、エアーフィルターを正しく取り付けてください。
通常の状態で 昇降 の文字が点滅する		空気吸込グリルが収納位置にないためです。再度昇降動作を行い、正しい位置に空気吸込グリルを収納させてください。
空気吸込グリルが傾いて昇降する		左右の吊りワイヤーの巻き取りにずれが生じるためです。異常ではありません。 極端に傾いて昇降（45°以上）する場合は、一旦空気吸込グリルを下降させ、再度上昇させてください。
昇降動作中に音がする		吊りワイヤーが糸巻きに巻かれるとき、また繰り出されるときに出る音です。異常ではありません。

故障かなと思ったら(つづく)

修理を依頼される前にお調べください

症状		調べるところ	運転を再開するとき
運転しない		エアコンの元電源は入っていますか。	エアコンの元電源を入れてください。
		元電源のヒューズやブレーカーが切れていませんか。	ヒューズの交換またはブレーカーを入れてください。 再発する場合は、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口へご相談ください。
運転するがすぐ止まる	冷房時	室外ユニットの空気吸込口や空気吹出口が紙・ビニール・洗たく物などでふさがれていませんか。	空気吸込口や空気吹出口をふさいでいる物を取り除いてください。
	暖房時	室外ユニットの空気吸込口や空気吹出口の近くに風の妨げになるものがありませんか。	風の流れの妨げになっている物を取り除いてください。
		吹出空気がそのまま空気吸込口に吸い込まれていませんか。	
よく冷えない、よく暖まらない		運転モードは適正ですか。	送風運転になっている場合は冷房(暖房)運転モードに切り換えてください。
		設定温度は適正ですか。	設定温度 にて、『△』(冷房時)または『▽』(暖房時)スイッチを押してみてください。
		風の吹出方向は適正ですか。	吹出方向を変えてみてください。 暖房時、足元が暖まらない場合には、風向調節羽根を下向きにしてください。
		エアーフィルターが目づまりしていませんか。	エアーフィルターを掃除してください。
		部屋の窓や戸が開いていませんか。	窓や戸を閉めてください。
		室内ユニット・室外ユニットの空気吸込口や空気吹出口のまわりに障害物がありませんか。	障害物を取り除いてください。

故障かなと思ったら（つづき）

次の場合はお買い上げの店へご連絡ください

●前ページの点をお調べいただいても調子が良くならないとき、また、前ページの点以外の症状があるときは使用を中止してお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

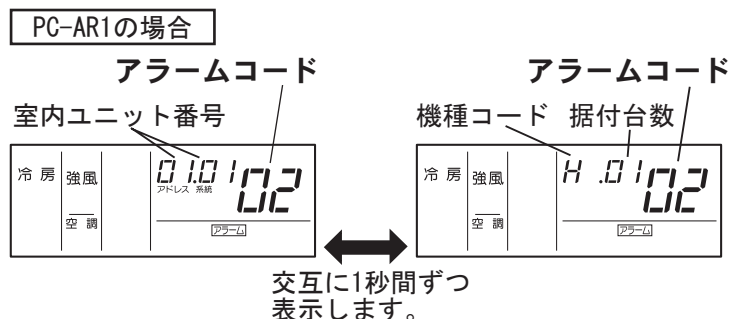
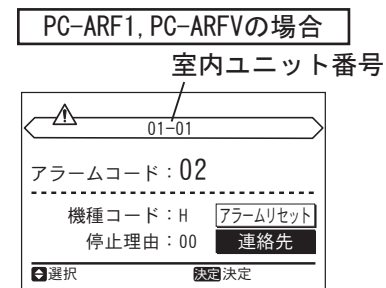
⚠警告
●異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して、元電源をただちに切ってください。
異常のまま運転を続けると故障・感電・火災などの原因になります。
お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

症　　状	次の処置をしてから連絡を
ヒューズ・ブレーカー・漏電遮断器などの安全装置がたびたび作動する、または運転スイッチの作動が不確実。	電源を切ってください。
エアコンから水が漏れる。	運転を停止してください。
空気吸込グリルが3 ～ 5秒動作後、停止する。	昇降グリル操作モード（☞ 15, 30ページ）で［決定］スイッチの『△』を繰り返し押し続けることにより応急運転できます。空気吸込グリルを昇降グリル付きパネルに収納後、ご連絡ください。この場合、修理するまでエアコンの運転は可能です。
吊りワイヤーが切れた。	エアコン用電源を切ってください。次ページの「空気吸込グリルの仮掛けのしかた」に従って、仮掛けしてご連絡ください。この場合、修理するまでエアコンは応急的に運転できます。
吊りワイヤーの片側は上がるが反対側は上がらない。	（同上）
●運転ランプ（赤色）が点滅します。 ●液晶に アラーム の文字が表示されます。（PC-AR1の場合） ●液晶に室内ユニット番号・**アラームコード**・機種コード・据付台数が表示されます。	43ページの「アラームコード一覧表」を参照し、リモコンスイッチの表示内容を連絡してください。

●リモコンスイッチが複数台の室内ユニットと接続されている場合は、室内ユニットごとに順次表示します。

液晶の内容を確認して、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

PC-AR1の場合

お買い上げの店にご連絡のときお知らせください

1 型式　一型式の表示箇所は（☞ 7ページ）
2 故障の症状　一できるだけ詳しく
3 アラーム表示の番号　一（☞ 43ページ）

空気吸込グリルの仮掛けのしかた

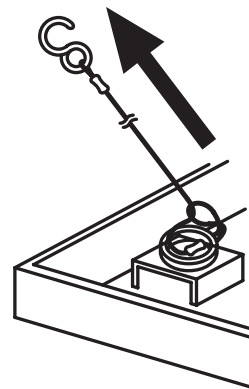
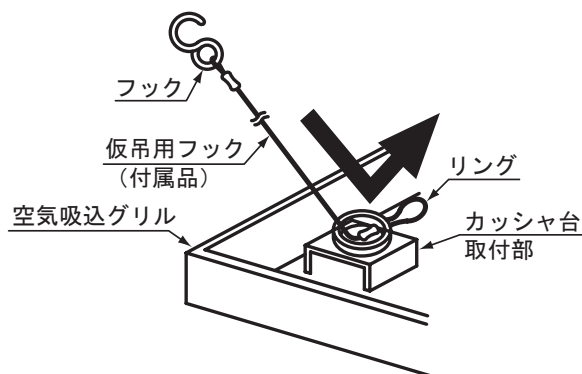
高所作業になりますので、十分注意して作業してください。

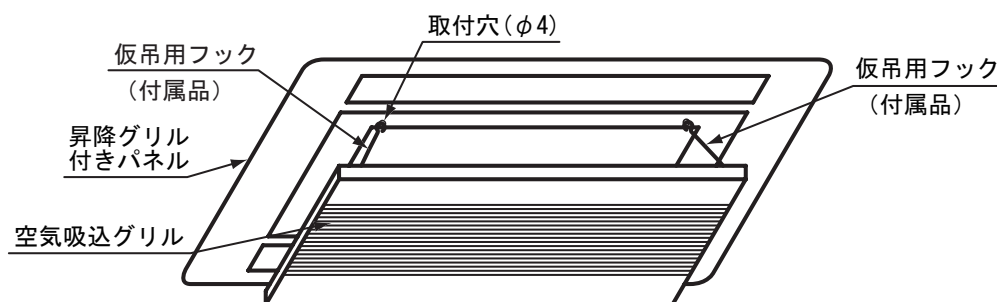
⚠ 注意	●必ずエアコンの電源を切ってから作業してください。また、余ったワイヤーは室内ユニットのファンに吸い込まれないよう、短く束ねておいてください。 エアコンの破損やワイヤーの絡みなど、駆動系が破損する恐れがあります。

1 仮吊用フックを取り付けてください。

●付属の仮吊用フックを空気吸込グリルのカッシャ台取り付け部に取り付けます。(4 ヵ所)

①仮吊用フックのリングをカッシャ台取り付け部に通してください。

②仮吊用フックのリングにフックを通して引っ張ってください。

2 空気吸込グリルを取り付けてください。

●昇降グリル付きパネルの仮吊用フック取り付け穴（φ4）に仮吊用フックを引っ掛けて空気吸込グリルを取り付けます。(4 ヵ所)

故障かなと思ったら(つづき)

アラームコード一覧表

アラームコード	アラーム内容	アラームコード	アラーム内容
01	室内保護装置作動	38	保護検出回路異常
02	室外保護装置作動	39	一定速圧縮機電流異常
03	伝送異常(室内ー室外)	41	冷房過負荷
04	伝送異常(インバーター)	42	暖房過負荷
05	相検出異常	43	圧力比低下防止保護作動
06	室外電圧低下異常	44	低圧圧力上昇保護作動
07	吐出ガススーパーヒート低下異常	45	高圧圧力上昇保護作動
08	圧縮機上温度過昇	46	高圧圧力低下保護作動
09	室外送風機保護装置作動	47	低圧圧力低下保護作動
11	吸込空気温度サーミスター異常	48	過負荷運転保護作動
12	吹出空気温度サーミスター異常	51	インバーター電流センサー異常
13	室内熱交液管温度サーミスター異常	52	インバーター過電流保護作動
14	室内熱交ガス管温度サーミスター異常	53	トランジスターモジュール保護作動
19	室内送風機保護装置作動	54	インバーターフィン温度上昇保護作動
20	圧縮機上部温度サーミスター異常	56	室外ファンモーター位置検出異常
21	高圧圧力センサー異常	57	室外ファンモーターコントローラー保護作動
22	外気温度サーミスター異常	58	室外ファンモーターコントローラー異常
23	吐出ガス温度サーミスター異常	90	蓄熱ユニットアラーム
24	配管温度サーミスター異常	91	蓄熱フロートスイッチ異常
29	低圧圧力センサー異常	92	水位異常
31	室内外組み合わせ誤り	99	蓄熱リモコン伝送異常
32	他室内ユニット号機設定誤り	b1	アドレス・冷媒系統設定誤り
35	室内ユニット号機設定誤り	EE	圧縮機保護アラーム
36	室内ユニット組み合わせ誤り		

製品の種類と運転音

項目＼型式		RCID-AP22KTJ1 RCID-AP22K1	RCID-AP28KTJ1 RCID-AP28K1	RCID-AP36KTJ1 RCID-AP36K1	RCID-AP40KTJ1 RCID-AP40K1 RCID-AP40KT1	RCID-AP45KTJ1 RCID-AP45K1 RCID-AP45KT1	RCID-AP50KTJ1 RCID-AP50K1 RCID-AP50KT1	RCID-AP56KTJ1 RCID-AP56K1 RCID-AP56KT1
種類	機能	冷暖房兼用型・冷房専用型						
	ユニット構成	分離式						
	凝縮器の冷却方式	空冷式						
	送風方式	直接吹出型						
電源	単相	200V 1φ 50/60Hz						
	三相	200V 3φ 50/60Hz						
運転音 [dB(A)]		急 34 強 32 弱 30	急 34 強 32 弱 30	急 34 強 32 弱 30	急 35 強 32 弱 30	急 35 強 32 弱 30	急 35 強 32 弱 30	急 35 強 32 弱 30

項目＼型式		RCID-AP63K1 RCID-AP63KT1	RCID-AP71K1 RCID-AP71KT1	RCID-AP80K1 RCID-AP80KT1	RCID-AP90K1 RCID-AP90KT1	RCID-AP112K1 RCID-AP112KT1	RCID-AP140K1 RCID-AP140KT1	RCID-AP160K1 RCID-AP160KT1
種類	機能	冷暖房兼用型・冷房専用型						
	ユニット構成	分離式						
	凝縮器の冷却方式	空冷式						
	送風方式	直接吹出型						
電源	単相	200V 1φ 50/60Hz						
	三相	200V 3φ 50/60Hz						
運転音 [dB(A)]		急 36 強 33 弱 30	急 38 強 34 弱 31	急 38 強 34 弱 31	急 40 強 36 弱 33	急 40 強 36 弱 33	急 43 強 40 弱 36	急 45 強 42 弱 38

項目＼型式		RCID-AP71KLH1	RCID-AP80KLH1	RCID-AP112KLH1	RCID-AP140KLH1
種類	機能	冷暖房兼用型・冷房専用型			
	ユニット構成	分離式			
	凝縮器の冷却方式	空冷式			
	送風方式	直接吹出型			
電源	単相	200V 1φ 50/60Hz			
	三相	200V 3φ 50/60Hz			
運転音 [dB(A)] (冷房/暖房)		急 24/19 強 19/16 弱 16/14	急 37/30 強 30/25 弱 25/21	急 41/35 強 35/30 弱 30/26	急 43/40 強 40/34 弱 34/28

留意事項

運転音は反響の少ない無響室などの部屋で、製品下方 1.5m の測定位置置における値 (A スケール) を表示します。実際の据付状態では、周囲の騒音や反響を受け、表示値より大きくなります。また、運転開始時や暖房時の除霜運転中など、冷媒の状態が変動すると冷媒の流れる音により、運転音が大きくなる場合があります。

製品の保安上の明細

355型以上の室外ユニットと組み合わせられる場合は法定冷凍能力5トン以上の製品となるため、高圧ガス保安法に基づき冷媒ガスの圧力を受ける部分の材料、構造を遵守し、圧力試験が実施されています。

冷媒ガスの圧力を受ける部分の部品を交換または修理される場合(法定冷凍能力5トン以上)は、資格(冷凍機器製造事業所)のあるサービス工事店に依頼されるようお願いいたします。

熱交換器	型　　式		−	多通路クロスフィン式
	許容圧力	R410A	MPa	4.15
	台　　数		−	1（ユニット1台当たり）
	主要材料		−	C1220T-O（リン脱酸継目無銅管）

保証とアフターサービスについて

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

※本製品（パッケージエアコン）は、業務用エアコンです。

良好な状態でお使いいただくため、お客様の行う日常点検（フィルター清掃など）に加え、専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。

下記の【設計上の標準使用期間とは】は、家庭用としてご使用された場合を想定して表示をしています。

【本体への表示】

※経年劣化による危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を、本体の銘板近くに行っています。

〔製造年〕（本体の銘板（仕様銘板）の中に西暦４桁で表示してあります。）

※【設計上の標準使用期間】　１０年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、
経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

【設計上の標準使用期間とは】

※運転時間や温湿度など、下表の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件…（社）日本冷凍空調工業会の自主基準（家庭用エアコン）による

環境条件	電源電圧		定格表示電圧による
	周波数		定格表示周波数による
	冷房	室内温度	27℃（乾球温度）
		室内湿度	47%（湿球温度：19℃）
		室外温度	35℃（乾球温度）
		室外湿度	40%（湿球温度：24℃）
	暖房	室内温度	20℃（乾球温度）
		室内湿度	59%（湿球温度：15℃）
		室外温度	7℃（乾球温度）
		室外湿度	87%（湿球温度：6℃）
	設置条件		機器の据付点検要領書による標準設置
負荷条件	住宅		木造平屋，南向き和室，居間
	部屋の広さ		機器能力に見合った広さの部屋（畳数）
想定時間	1年当たりの使用日数		東京モデル 冷房：6月2日から9月21日までの112日間 暖房：10月28日から4月14日までの169日間
	1日当たりの使用時間		冷房：9時間／日 暖房：7時間／日
	1年間の使用時間		冷房：1，008時間／年 暖房：1，183時間／年

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

保証とアフターサービスについて（つづく）

保証について

保証書は、組み合わせられる室外ユニットに付属しています。

●保証書はお買い上げの店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保存してください。

●保証期間は、試運転完了日から起算して1年間です。保証期間中に万一、故障したときは、保証書記載事項に基づいて1年間は無償修理いたします。お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
なお、保証期間中でも有償になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理は有償になります。
なお、エアコンの故障に起因した営業補償などの二次補償はいたしません。

●良好な状態でエアコンをお使いいただくため、お客様の行う日常点検（フィルター清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の「点検周期」および定期点検に伴なう「保全周期」［主要部品の交換・修理実施周期］は下表を目安にされると便利です。（本表は主要部品を示します。詳細は保守契約に基づいて確認してください。）
なお、保守点検は契約会社によって若干内容の違いがありますので、契約時によくお確かめください。

表1の保全周期および表2の交換周期は保証期間を示すものではありません。

ご使用条件	(1) 頻繁な発停の無い、通常のご使用状態であること。 (2) 製品稼動時間は10時間/日、2,500時間/年と仮定します。

表1　主要部品の「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期【交換または修理】	主要部品名	点検周期	保全周期【交換または修理】
圧縮機	1年	20,000 時間	電子膨張弁	1年	20,000 時間
モーター（ファン・ルーバー・ドレンポンプなど）		20,000 時間	センサー（サーミスター・圧力センサーなど）		5年
バルブ（電磁弁・四方弁など）		20,000 時間	ベアリング		15,000 時間
プリント基板類		25,000 時間	ドレンパン（注2）		8年
熱交換器		5年	リモコンスイッチ・スイッチ類		25,000 時間

注1. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安時間を示していますので、適切な保全計画（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
注2. 建築物衛生法（旧ビル管理法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要になります。
注3. 運転状況によっては点検周期および保全周期が異なります。例えば下記の場所でご使用される場合には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
- 温度・湿度の高い場所、またはその変化の激しい場所。
- 電源（電圧・周波数・波形歪みなど）や負荷変動が大きい場所。
- 振動・衝撃が多い場所。

表2　主要部品の「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	ヒューズ	1年	5年
高性能フィルター		1年	クランクケースヒーター		8年

注1. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安時間を示していますので、適切な保全計画（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

●故障の発生は、定期点検実施の場合でも、予期できない突発的偶発故障が発生する場合があります。
この場合、保証期間外での故障修理は有償になります。

●補修用性能部品の保有期間について
このエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
弊社は補修用性能部品を調達したうえ、修理によって機能を維持できるときは、お客様のご要望により有償修理いたします。

アフターサービスご契約のおすすめ

●弊社指定のサービス店と保守契約(有償)いただければ、日立パッケージエアコン専門のサービスマンがお客様に代わって点検をします。
万一の故障のときも早期に発見し、適切に処置をすることができます。

●使用される環境下により残存するドレン水が変質し、ドレンパン出口やドレンポンプのつまりが発生することが稀にあります。また、ドレン水の変質により製品内部に錆びやカビなどが発生し、異臭などの原因にもなりますので定期的な清掃をお願いいたします。

移設および廃棄について

●転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

●エアコンを長年お使いになったあと廃棄されるときは、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

お客様メモ

後日のために記入してお客様にお渡しください。お客様がサービスを依頼されるときに、お役にたちます。

お買い上げ店名

電話 (　　　) —

お買い上げ年月日 　　年　　月　　日

製造販売元:日立アプライアンス株式会社 空調事業部

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目16番1号(ニューピア竹芝サウスタワー)

P5414899(Q) 2012年8月 Printed in Japan(SK)